

# 新宿区立図書館事業報告書

## (令和6年度)

### 1 報告書の概要

新宿区立図書館は、令和6年3月に新宿区立図書館サービス計画（令和6年度～9年度）（以下、「本計画」と言います。）を策定しました。

この報告書は、本計画の初年度である令和6年度の「重点事業」と「全館共通取組事業」について、主な実績や指標の達成率、課題と今後の取組みについてまとめたものです。

### 2 指標と評価

新宿区立図書館では、新宿区立図書館運営協議会（以下、「協議会」と言います。）の意見を踏まえ、本計画において初めて指標（数値化した目標値）を設定し、PDCAサイクルによる評価体制を整えました。また、各事業に設定した指標については、目標値と実績値から算出される達成率（％）に基づき、下表のような評価（A～D）を行いました。

評価	達成率
A	100％以上
B	80％以上 100％未満
C	50％以上 80％未満
D	50％未満

事業の中には、令和6年度の実績値が目標値とかけ離れたものとなった指標がありました。これらの指標については、令和7年度に行った協議会の意見を踏まえ、令和7年度以降の目標値や事業概要等の見直しを行いました。これについては、参考資料「指標見直しシート」として本報告書に添付しました。

なお、本計画の最終年度においては、指標を単に数値化して行う評価だけでなく、利用者アンケートによる満足度調査の結果を考慮するなど、指標にはない要素を加えた「総合評価」を行う予定です。

### 3 事業名

#### 重点事業

図書館名	重点事業名	ページ
中央図書館・こども図書館	電子図書館の導入	3
	区民優先サービスの導入の検討	4
	中学生・高校生等向け読書活動の支援	5
四谷図書館	夏目漱石関連講座・展示	6
	英語多読講座・ワークショップ	7
	内藤のとうがらして学ぶ地域文化	8
鶴巻図書館	早稲田鶴巻地域を知る事業	9
	地域との相互支援・連携	10
	子どもの読書活動・調べる学習への支援	11
西落合図書館	夏目漱石の魅力発信	12
	子育て支援サービスの充実	13
	地場産業や大学との連携	14
戸山図書館	障害者サービスの充実	15
	地域資料の充実と情報発信	16
	高齢者サービスの充実	17
北新宿図書館	多文化共生地域における図書館サービスの充実	18
	区各部署や近隣地域団体との連携事業	19
	環境に配慮した図書館	20
中町図書館	地域団体との連携によるアウトリーチ活動	21
	地域を知るための図書館	22
	子どもの成長を応援する図書館	23
角筈図書館	ビジネス支援事業の強化	24
	子どもたちが親しみやすい図書館	25
	区民が集う場と機会の創出	26
大久保図書館	国際交流の場の創出	27
	母語による読み聞かせ	28
	外国語資料の充実	29
下落合図書館	子育て支援サービス	30
	介護・高齢者支援サービス	31
	地場産業の魅力発信	32

#### 全館共通取組事業

	全館共通取組事業	ページ
1	新宿区ゆかりの作家関連事業	33
2	区の各部署との連携と支援	38
3	地域団体等との協働事業	43
4	調べ学習・生涯学習への支援	48

### 4 参考資料

指標見直しシート（重点事業及び全館共通取組事業） 53 ページ

重点事業名	電子図書館の導入	主な基本方針 項目名	3 電子資料等の活用		
<b>目的</b>					
<p>「区民にやさしい知の拠点」として機能の更なる充実を図るため、電子書籍貸出サービス（電子図書館）を導入します。          現在図書館を利用していない区民に対する新たなアプローチとして、来館による貸出・返却手続きが不要となる非来館型サービスの充          実を図り、利用登録者の増加を目指します。          地域資料の電子化を検討し、新宿区所蔵の貴重な地域資料を図書館ホームページ等で提供することにより、利便性の向上を図り          ます。          電子書籍を活用し、読書バリアフリー法（視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律）が目指す図書館サービスの提供</p>					
<b>事業内容</b>					
<p>電子書籍の提供          システム導入：令和6年度の図書館システム更新と同時導入を目指します。          提供内容：毎年図書コンテンツ約1,100冊、雑誌コンテンツ（雑誌約100冊以上バック）を提供します。          （図書コンテンツ選定の方針）          ア 学習や資格取得に役立つ問題集や参考書の充実          イ 一般書、絵本、児童書などの充実          ウ 破損しやすい雑誌を電子コンテンツで提供          利用促進：広報やホームページ、チラシ、SNS等で周知を図ります。          区民意見の把握：図書館満足度アンケート等を実施し、資料選定やサービスの課題等の改善を行います。          地域資料の電子化          民間提案制度等を活用し、図書館システムに適合可能な、地域資料の電子化を進めます。          地域資料電子化冊数は、導入後から毎年度3冊程度の増加を目指します。          高齢者・障害者向けサービスの拡充          音声読み上げ、文字の拡大、白黒反転などに対応するコンテンツの充実を図ります。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>電子書籍の提供          システム導入：令和7年1月15日から電子書籍貸出サービス（しんじゅく電子図書館）の提供を開始しました。          提供内容          ア しんじゅく電子図書館（LibrariE&amp;TRC-DL） 貸出・閲覧型サービス（図書3,461点、雑誌269点）          紙の書籍では提供が難しい問題集や参考書を電子図書として提供しました。          絵本や児童書、お料理の本などの実用書も取り揃えました。雑誌コンテンツは閲覧型サービスとして提供しました。          イ しんじゅく電子図書館（KinoDen） 閲覧型サービス（23区内の導入は初、図書280点）          学術書、辞典、新宿区に関する電子書籍やオーディオブックを提供しました。          広報新宿、新宿区立図書館ホームページ、X（旧ツイッター）による周知、ポスター・チラシの掲出、講座開催（3回、参加人数          19人）により利用促進を図りました。          区民意見の把握：図書館満足度アンケート調査を令和7年3月に実施しました。          地域資料の電子化          「新宿区立図書館資料室紀要（1～3巻）」を電子化して公開しました。          高齢者・障害者向けサービスの拡充          非来館型サービスとしての電子図書館の周知に努めました。併せて、音声で読み上げる「オーディオブック」を提供しました。</p>					
<b>指標</b>		R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
資料受入数		3,741	1,100	340%	A
資料総数		3,741	1,100	340%	A
貸出者数・閲覧者数（延べ人数）		3,927	225	1,745%	A
貸出数・閲覧数		3,927	550	714%	A
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>指標「資料受入数」「資料総数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（資料受入数：1,100 1,600、資料総数：2,400 5,700。いずれも令和9年度目標値。参考資料参照）。          「貸出者数・閲覧者数（延べ人数）」は「貸出数・閲覧数」と同数であることが判明したため、これらの指標を「貸出数」及び「閲覧数」に変更し、あらためて目標値を設定しました（参考資料参照）。          電子書籍貸出サービスは、認知度を高め、利用者を増やしていくことが課題です。今後の取組みとして、図書館に来館することが難しい利用者や、電子書籍貸出サービスを目的とした新たな利用者獲得のため、新宿区立図書館ホームページ・SNS等を活用し、積極的に情報発信します。</p>					

重点事業名	区民優先サービスの導入の検討	主な基本方針 項目名	28 利用満足度の高い図書館運営		
<b>目的</b>					
電子書籍の導入にあたっては、誰もがインターネット上で予約、貸出、返却ができることから、区民の利用機会の確保に向けた検討が必要となり、今後の図書館サービスの内容や対象とする利用者の範囲について、他自治体の現状や図書館運営協議会の意見を踏まえながら、区民の視点から検討していきます。					
<b>事業内容</b>					
<p>図書館登録更新制度の周知・促進            窓口やホームページ・ポスター・チラシ等で周知継続を行います。            登録要件更新後の利用登録状況の確認を行います。            区民優先サービスの導入            対象サービス（他自治体の現状を鑑みた以下のサービス等から、実現性等を考慮し導入するサービス）を検討します。            対象者（区民）を区内在住者のみか、または在勤者・在学者も含めるのか検討します。</p> <p>（事業例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子書籍の区民限定利用。</li> <li>・新刊資料等の予約を区民に限る。</li> <li>・図書資料の貸出上限冊数の枠を増やす。</li> <li>・区民優先閲覧席の導入</li> </ul>					
<b>主な実績</b>					
<p>図書館登録更新制度の周知・促進            周知活動            ・来館者（カウンター利用者）に登録要件更新啓発のチラシを配布しました。            ・館内に登録要件更新啓発用のポスターを掲示しました。            ・広報・ホームページに登録要件更新の案内を記載しました。</p> <p>利用登録状況の確認            ・登録要件更新者数を毎月確認しました。</p> <p>区民優先サービスの導入            中央図書館と地域図書館の担当者によるサービス業務連絡会を開催し、他自治体の現状や実現性等を考慮し、導入するサービスを検討しました。            上記の会議で協議し、対象者（区民）を区内在住者、在勤者・在学者に決定しました。また、令和7年1月から電子書籍サービス（しんじゅく電子図書館）を区民優先サービスとして先行実施することとし、併せて令和7年10月から導入する区民優先サービスについて引き続き検討することとしました。</p>					
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
登録要件更新済者数	22,397	30,000	75%	C	
累計更新済率	25	40	63%	C	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>指標「登録要件更新済者数」については、長期間図書館利用がなかった利用者も含まれていたことが判明したため、令和7年度の目標値を下方修正（60,000 → 34,000）しました。</p> <p>引き続き図書館ホームページ・ポスター・チラシ・カウンターでの口頭での周知を継続するほか、広報新宿や貸出票（レシート）裏面の活用といった周知活動を積極的に行っていきます。</p> <p>サービス業務連絡会や図書館運営協議会において意見交換を行い、区民優先サービスの対象者・対象サービスを決定し、令和7年10月から導入する区民優先サービスについても、適切かつ円滑にサービスの導入と提供を行えるよう、周知に努めていきます。</p>					

重点事業名	中学生・高校生等向け読書活動の支援	主な基本方針 項目名	16 新宿区子ども読書活動推進計画 17 読書環境の充実	
目的				
<p>小学生に比べ、貸出数の著しい減少がみられる中学生・高校生等世代を主な対象に、貸出数の減少幅を抑えることを目的として読書活動を支援します。当該世代を対象とした蔵書を充実させ、進学や就職を含め、情報を提供します。 あわせて、イベントの開催や居場所づくりを行い、学校でも家庭でもない居場所として図書館の利用を促進します。</p>				
事業内容				
<p>中学生・高校生等向け資料の収集 中学生・高校生等向け資料はおよそ3,300冊所蔵しており、新規購入の他、適切な除籍や買換えを行います。年間購入数は300冊程度を目標とします。 収集は人気の高い文学を中心に需要を見ながら幅広く行います。 中学生・高校生等向けイベントの実施（近隣の中学校・高校との連携） 近隣の中学・高校などと連携し、秋頃を目標におすすめの本などの展示を行います。また、あわせて興味・関心のある内容をテーマとしたイベントを実施し、図書館への来館を促します。 電子図書館システム導入を想定した学習参考書等の収集計画の検討 これまで紙の本では提供が困難であった学習参考書等について、電子書籍での収集計画を検討します。</p>				
主な実績				
<p>中学生・高校生等向け資料の収集 年間受入数：230冊 中学生・高校生等向けイベントの実施（近隣の中学校・高校との連携） 新宿西戸山中学校、海城中学高等学校、保善高等学校それぞれと連携し企画展示を行いました。 新宿西戸山中学校：展示資料84冊、貸出153冊 海城中学・高等学校：展示資料92冊、貸出102冊 保善高等学校：展示資料93冊、貸出86冊 中学生・高校生向けイベントとして7月に「日本から難民キャンプへ。旅する絵本のものがたり」（講師：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、参加人数6人）、2月に「ボードゲームの世界へようこそ！」（講師：こども図書館職員、参加人数12人）を開催しました。 電子図書館システム導入を想定した学習参考書等の収集計画の検討 英検やTOEICなどの電子学習参考書を受け入れました。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
年代別貸出数（中学生・高校生等）	4,261	2,500	170%	A
電子学習参考書等受入数	156	100	156%	A
課題・今後の取組み				
<p>指標「年代別貸出数（中学生・高校生等）」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（2,800 4,500、令和9年度目標値。参考資料参照）。指標「電子学習参考書等受入数」については、当初目標値を未定としていたため、あらためて目標値を設定しました（参考資料参照）。 中学生・高校生等向け資料の収集は、対象者のニーズに応じられるよう収集に努めます。 引き続き近隣の中学校・高校と連携し、中高生向けの資料を積極的に購入するほか、企画展示を実施します。 中学生・高校生等が、興味・関心のある内容をテーマとしたイベントを実施し、図書館への来館を促していきます。 電子書籍では、学習や資格取得に役立つ問題集や参考書をさらに充実させていきます。</p>				

重点事業名	夏目漱石関連講座・展示	主な基本方針 項目名	2 地域資料の充実 12 魅力あるイベントの実施	
目的				
<p>新宿区ゆかりの作家である夏目漱石関連の講座・展示を実施します。</p> <p>講座や展示を通して地域のゆかりの作家の知られていない逸話や文章を紹介することにより、利用者に作家への愛着を感じていただき作品にふれるきっかけづくりを行います。</p> <p>利用者に図書館所蔵の夏目漱石の作品を借りて読んでいただくことにより、作品の時代背景が古くても今に通じる知識の取得の機会をつくります。</p>				
事業内容				
<p><b>夏目漱石関連講座</b></p> <p>新宿区ゆかりの作家である夏目漱石関連の講座を講師を招いて年1回実施します。</p> <p>講師による、作品の部分や出てくる言葉の説明などの解説を通して理解を深める機会を設けます。</p> <p>夏目漱石の人となりを知ってもらい、より深く人物を理解していただきます。</p> <p>イベントの告知のためのポスターやチラシなどを通して、新宿区ゆかりの作家であることを周知します。</p> <p>新宿区立漱石山房記念館などに足を運ぶ機会を作っていただけるよう広報します。</p> <p><b>夏目漱石作品の展示</b></p> <p>夏目漱石関連の所蔵資料の紹介を行い、貸出促進につなげます。</p> <p>夏目漱石関連のパスファインダーの作成など検討して実現していきます。</p> <p>夏目漱石関連の書籍を購入することで、蔵書数を増やし、書架を充実させていきます。</p>				
主な実績				
<p><b>夏目漱石関連講座</b></p> <p>新宿区ゆかりの作家であることを周知するために新宿学講座と銘打ち、新宿学講座「漱石さんの学ぶ、教えるとは」（3月、参加人数9人）を開催しました。講座会場内に漱石山房記念館のパンフレットやチラシを置き、新宿区ゆかりの作家であること、漱石山房記念館についての周知を図りました。</p> <p><b>夏目漱石作品の展示</b></p> <p>特別展示・夏目漱石展「文豪の病気、文豪の死」（11月～12月、展示数60点、貸出数28点）を実施しました。夏目漱石関連のパスファインダーについては、検討の上、次年度以降作成します。夏目漱石関連の書籍については、6点の受入れを行いました。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
夏目漱石関連講座参加人数	9	15	60%	C
夏目漱石の作品の展示数	60	20	300%	A
課題・今後の取組み				
<p>関連講座の参加人数が目標値に届かなかったことが課題です。広報新宿や新宿区立図書館ホームページ、SNS等の活用、連携している近隣施設へのチラシ・ポスターの配布等、区民へのより効果的な周知方法を検討します。漱石山房記念館や新宿歴史博物館と連携し、夏目漱石への愛着を感じ関心を引く講座を企画し、参加者の増加につなげていきます。</p> <p>作品の展示数は目標値を上回りましたが、貸出数にはつながりませんでした。特集展示や講座のPRとして、ホームページやSNSでの情報発信や夏目漱石しおりの配布を実施していきます。指標「夏目漱石の作品の展示数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（40→80、令和9年度目標値、参考資料参照）。</p>				

重点事業名	英語多読講座・ワークショップ	主な基本方針 項目名	8 外国人・障害者・高齢者に対する支援 13 多様な学習機会の提供 17 読書環境の充実	
目的				
<p>単語を聞いて翻訳せずにそのまま英語として受け入れ、英語で理解して会話することができるような講座を実施します。 図書館所蔵の資料を繰り返し借りて見ていただくことにより、利用者の英語力の向上を手助けします。また、利用者の英語力向上とともに、外国人利用者との交流を目指します。</p>				
事業内容				
<p>英語多読講座の開催 東日本でもっとも多読資料の蔵書がある（令和5年3月時点）新宿区立四谷図書館の多読事業として毎年「暗記も辞書もいらないやさしい絵本から始める英語多読」講座を実施していきます。 NPO多言語多読の協力により、初心者から経験者まで広く「多読講座」の参加者を募集します。</p> <p>英語多読実践指導・ワークショップの実施 英語多読に関する講座や実践指導・ワークショップを実施します。 「暗記も辞書もいらないやさしい絵本から始める英語多読初心者向け講演会 &amp; ワークショップ」を実施します。</p> <p>英語多読資料の充実 「暗記も辞書もいらないやさしい絵本から始める英語多読」講座の経験者を増やすことにより、レベルごとに7種類に色分けされて分類されている多読資料の貸出促進を図ります。 「暗記も辞書もいらないやさしい絵本から始める英語多読」講座の参加者同士がレベルごとの経験を積んでスキルアップされた後にそれぞれの交流の場を設け、さらに講座を発展させていきます。 「暗記も辞書もいらないやさしい絵本から始める英語多読」講座の参加者が継続的に増えることにより、世界の公用語である英語を理解する四谷地域の利用者を増やすことで外国人に対する支援につなげていきます。</p>				
主な実績				
<p>英語多読講座の開催、 英語多読実践指導・ワークショップの実施 「暗記も辞書もいらないやさしい絵本から始める英語多読」講座は、講座形式をとらず、講演会 &amp; ワークショップ形式（6回、参加人数54人）で実施しました。</p> <p>英語多読資料の充実 英語多読資料の貸出促進や英語多読講座の発展と参加者増を図るための周知の一環として、パネルを使った企画展示「図書館ではじめよう！暗記も辞書もいらない楽しい英語多読」（5/10～7/8、展示数658点、貸出数965点）を実施しました。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
英語多読講座・ワークショップ参加人数	54	70	77%	C
英語多読資料受入数	110	90	122%	A
課題・今後の取組み				
<p>英語多読を紹介することで、図書館の利用促進、関連図書の出借増加を継続して図ってきました。資料受入数は目標値を上回っており、企画展示の貸出数も多く、英語多読への関心は引き続き高いと感じています。今後の取組みとして、初心者向け資料の充実と講演会・ワークショップを継続して実施し、多読経験者の裾野を広げます。多読講座・ワークショップの参加人数が目標値を下回ったことから、ホームページやSNS等により積極的に情報発信を行い、参加者の増加につながる取組みを行います。</p> <p>課題として、多読資料コーナーの拡大と探しやすい棚づくりを進める必要があります。このほか、英語多読を継続して利用している中級・上級者に向け、資料の充実を図るとともに、英語の使用を実践できる交流の場を創出していく必要があります。</p>				

重点事業名	内藤のとうがらしで学ぶ地域文化	主な基本方針 項目名	2 地域資料の充実 12 魅力あるイベントの実施	
<b>目的</b>				
江戸時代に宿場町があった内藤新宿で育てられて人気になった「内藤とうがらし」。 内藤新宿ゆかりの食材である「とうがらし」を使った調理ワークショップを実施して、とうがらしを素材として地域の歴史や文化を知ってもらいます。 「とうがらし」という食材を通じて四谷図書館の利用者を増やし、料理関連の本の貸出促進に繋げていきます。				
<b>事業内容</b>				
<p>とうがらしの調理ワークショップ 内藤町ゆかりの食材である内藤とうがらしの栽培を四谷区民センター8Fで行い、かつて新宿で栽培されていた内藤とうがらしの中南米から日本への伝来、歴史を四谷地域に広く周知します。また、関連資料の貸出しの促進につなげます。 栽培した内藤とうがらしを地域センター調理工作室で調理し、参加者に提供して味わってもらいます。地域の方々に内藤とうがらしの食文化の定着を目指します。</p> <p>とうがらし関連講座 とうがらし料理の講座を実施してレシピを公開することにより、内藤とうがらしに興味を持っていただき、料理に関する資料の貸出促進につなげます。 とうがらしの育て方の講座を実施することによりとうがらしの普及に努め、内藤とうがらしを育てることを実施していただくための資料の貸出促進につなげます。</p> <p>とうがらし関連資料展示 とうがらしの育て方の資料展示を通して、内藤とうがらしに興味を持っていただき資料の貸出促進につなげます。 とうがらしを使った料理の資料の展示を通して、内藤とうがらしに興味を持っていただき、料理を実施していただくための資料の貸出促進につなげます。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>とうがらしの調理ワークショップ、とうがらし関連講座 の調理ワークショップと の関連講座は、料理講習会「七味とうがらしをつくろう！」（6回、参加人数94人）として開催しました。</p> <p>とうがらし関連資料展示 栽培風景の写真など、内藤とうがらしに関する情報が不足していたことや、当初参加予定であった「新宿エコ・カル2024in新宿御苑」に スケジュール等の都合で不参加となってしまったことなどから、資料展示にあたっては情報不足と判断し、未実施としました。</p>				
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
とうがらしの調理ワークショップ実施回数	1	2	50%	C
とうがらし関連講座参加人数	0	10	0%	D
とうがらし関連展示資料数	0	15	0%	D
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>四谷地域センターと連携し、調理ワークショップと関連講座を同時に実施しました。目標値を大きく上回る参加があり好評でしたが、図書館利用促進や関連資料の貸出増にはつながらず課題が残りました。</p> <p>とうがらし関連展示については、とうがらしに限らず地域の歴史と文化をより深く紹介するための関連資料を幅広く収集し、「四谷・内藤新宿コーナー」として設置するなど工夫を加え、貸出増加につなげていきます。</p> <p>各指標については、とうがらしに限定せず、四谷・内藤新宿関連の内容に変更しました。指標「とうがらし関連展示資料数」については、「内藤とうがらし等、四谷・内藤新宿関連展示」に変更した上で、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（30→50。令和9年度目標値。参考資料参照）。</p>				

鶴巻図書館

重点事業 1

重点事業名	早稲田鶴巻地域を知る事業	主な基本方針 項目名	2 地域資料の充実 12 魅力あるイベントの実施	
目的				
<p>早稲田鶴巻地域は歴史深い地域であることから、夏目漱石のほか、多様な人物や出来事、物が存在しています。</p> <p>早稲田鶴巻地域の図書館の重要な役割として、地域の特性や魅力を伝えていくため、地域資料の電子化に取り組みます。また、資料の充実を図るため、「夏目漱石コーナー」「印刷出版コーナー」「新宿区ゆかりの人物コーナー」「早稲田鶴巻町関連資料」「新宿区」「東京・江戸」の収集更新のほか、新たな地域資料を発掘、収集、保管し利用者へ提供します。</p> <p>地域を知る機会の創出や理解を深めるため、地域の歴史を学ぶ講座などを開催します。</p>				
事業内容				
<p>早稲田鶴巻地域資料の電子化</p> <p>資料調査</p> <p>ア 現存の地域資料から図書館サポーターが調査した結果に基づきピックアップします。</p> <p>イ 著作権の保護期間中か否か、著作権者の所在などを調査・確認し、許諾申請の方法を検討します。</p> <p>どのような形態で電子化するか中央図書館と協議</p> <p>電子化許諾申請</p> <p>許諾申請の結果に基づき、電子化及び電子化資料の公開</p> <p>早稲田鶴巻地域・新宿区・東京の地域資料、地場産業の印刷・製本関係、出版に関する資料の収集          新刊資料の他、早稲田古書店街を中心に古書店と連携し、幅広く地域資料収集にあたります。</p> <p>早稲田鶴巻地域の歴史を学ぶ学習機会の創出          郷土史家、大学教授等の有識者を講師に迎え講演会を行います。</p>				
主な実績				
<p>早稲田鶴巻地域資料の電子化</p> <p>資料調査と電子化希望資料の絞込みを行いました。早稲田鶴巻地域を内包する「榎地区」について以下 ～ の資料をピックアップし、国立国会図書館、東京都立図書館に紙媒体での所蔵、デジタルアーカイブもないことを確認しました。</p> <p>『えのき』（1995.3）、『えのき・続』（1997.4）、『えのき史跡巡り1』（1998）、『えのき史跡巡り2』（1998）、『えのき史跡巡り3』（1998）、『えのき史跡巡り4』（1998）</p> <p>早稲田鶴巻地域・新宿区・東京の地域資料、地場産業の印刷・製本関係、出版に関する資料の収集</p> <p>鶴巻地域は地場産業の印刷・製本関係、出版社が多くあることから、常設展示（321点）を行っています。地域資料コーナーには、新宿区や早稲田鶴巻地域に関する資料（57点）を受け入れました。</p> <p>早稲田鶴巻地域の歴史を学ぶ学習機会の創出</p> <p>鶴巻図書館創設50周年特別企画・まち巡り企画「暗渠さんぽ in 早稲田」（12/1、参加人数13人）を開催しました。</p> <p>「河出書房新社の編集者が語る『夏目漱石本の出版、その裏側。』」（3/30、参加人数14人）を開催しました。</p> <p>鶴巻図書館×中町図書館合同企画 「はじめての矢来能楽堂」を開催しました（11/3、参加人数34人）。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（%）	評価
地域資料電子化資料数（電子化希望数）	0	5	0%	D
早稲田鶴巻地域に関する資料所蔵数	378	350	108%	A
講演会参加人数	61	80	76%	C
課題・今後の取組み				
<p>指標「地域資料電子化資料数（電子化希望数）」については、電子化に向けて長期間調査を行っているという実態に合わせ、令和7年度以降の指標を「地域資料電子化調査資料数」に変更したほか、目標値についても見直しを行いました（8 6. 令和9年度目標値。参考資料参照）。</p> <p>指標「早稲田鶴巻地域に関する資料所蔵数」については、「印刷・製本」の常設展示、「新宿区ゆかりの人物コーナー」「夏目漱石コーナー」ともに、力をいれて収集を行っていますが、開架書架を整理していくことが課題です。なお、令和6年度実績を鑑み、令和7年度の目標値を上方修正しました（370 380。参考資料参照）。</p> <p>地域の歴史を学ぶ講座は、会場の都合上、定員15名としました。アンケート結果から参加者の満足度は高かったものの、定員の少なから参加人数の目標値に達しませんでした。今後は多くの利用者に参加していただけるよう、会場設定や回数工夫が必要です。</p>				

重点事業名	地域との相互支援・連携	主な基本方針 項目名	12 魅力あるイベントの実施		
<b>目的</b>					
<p>早稲田鶴巻地域は、早稲田大学を囲むようにいくつもの商店会が存在しています。また、地域の古書店街や新宿区の地場産業である、印刷・製本会社や出版社も多い地域です。</p> <p>近隣の大学、商店会、自治会、企業等と協働して、子どもから高齢者までの各世代のニーズに応じた講座・サービスなどを企画・提供することによって、積極的に区民同士の交流づくりや活力ある地域づくりに貢献していきます。</p>					
<b>事業内容</b>					
<p>大学や地域商店会、地域団体との相互支援</p> <p>早稲田大学のイベント「地球感謝祭」など、特色ある大学、地域商店会、地域団体のイベントに参加し、鶴巻図書館の利用促進に向けて周知します。</p> <p>前サービス計画でも連携実績のある、商店会のイベント「早稲田かつおフェスタ」等、地域商店会、地域団体のイベントを盛り上げる図書展示やその関連イベントを企画し、区民と団体を結びつける支援をします。</p> <p>地域の古書店街や地元団体との連携</p> <p>今まで鶴巻図書館にて、地域資料収集実績のない、ヒト・モノ・コトの発掘を早稲田古書店街と連携して、調査、収集し、利用者へ提供します。</p> <p>「つまき帯のデザイン賞」最終審査員等、鶴巻図書館の企画行事への参加依頼や地域歴史講座の講師依頼を通して、連携します。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>大学や地域商店会、地域団体との相互支援</p> <p>鶴巻町フェスティバル（5/15）、早大通りフェスティバル（10/18）に出店し、図書・雑誌・児童書のリサイクル資料（1,390点）と当館オリジナルデザインブックカバー（187枚）を配布しました。ワセダランド商店会主催の「早稲田かつおフェスタ」（9/25～10/25）では、資料展示（19点）を行いました。</p> <p>地域の古書店街や地元団体との連携</p> <p>令和6年度古書店からの地域資料受入数は、「東京ゆかりの文学者たち」など6点です。</p> <p>地元団体との連携は、当館開催企画「第5回つまき本の帯デザイン賞」において、最終審査員に出版社社長、古書店店主を招きました。ニュースサイト高田馬場経済新聞の取材、及び同編集部が運営しているYouTubeラジオ馬場経ラジオに鶴巻図書館員が出演しました。さらに、本の帯デザイン賞最優秀賞作品となった本の出版社から「販売促進用に本の帯作品をPOPにして取扱書店に設置したい」との申し出がありました。そのご縁で夏目漱石関連事業の講座に講師として来ていただくなど連携が広がりました。ほかに商店会</p>					
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
大学等へのイベント参加人数	187	90	208%	A	
地域イベント支援の展示数	19	50	38%	D	
古書店からの地域資料受入数	6	19	32%	D	
地元企業との連携件数	23	20	115%	A	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>指標「大学等へのイベント参加人数」については、わかりやすさを優先し指標名を「大学等でのイベント開催時の参加人数」に変更したほか、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（120→220、令和9年度目標値、参考資料参照）。</p> <p>古書店からの地域資料受入数は夏目漱石の大活字本をまとめて購入したことと、購入希望の地域資料が古書市場に流通していなかったことから、6点にとどまりました。今後は今まで所蔵していなかったゆかりのヒト・モノ・コトを発掘し、蔵書増につながるように情報収集に努めます。</p> <p>大学や地域商店会、地域団体との相互支援については、令和6年度に指定管理者が変わったことから、関係を改めて構築していくことが課題です。地域の情報拠点として双方よく知るため、対話を増やすなど積極的に活動していくことが必要です。</p>					

重点事業名	子どもの読書活動・調べる学習への支援	主な基本方針 項目名	16 「新宿区子ども読書活動推進計画」 20 学校等との連携		
目的					
<p>子どもの図書館利用促進のため、年齢やこどもそれぞれの読書スキルも考慮した読書案内を行います。</p> <p>「調べる学習」は、大学等での研究、リスキリング、生涯学習へと繋がります。子ども時代から気軽に楽しく、自主的に調べ、自ら考え、結果をまとめることができるよう、調べる学習用レファレンスイventや出張授業を実施し、学校と連携を図りながらサポートしていきます。</p>					
事業内容					
<p>図書・紙芝居等の収集、読書案内、行事企画</p> <p>赤ちゃん、幼児、小学生向けおはなし会を実施します。また、本に親しみ続けてもらえるような展示・行事を行います。また、参加者数が増えるよう、周知・啓発を行います。</p> <p>利用者の年齢だけでなく、個々の読書スキルを鑑み、読書案内をします。</p> <p>鶴巻図書館での児童書の利用傾向を、予約数やレファレンス提供数などをもとに分析し、蔵書構成を検討・購入します。また、中高生向け読書推進イベントを行い、YA（ヤングアダルト）世代図書を積極的に収集します。</p> <p>「新宿区の図書館を使った調べる学習コンクール」等、年間を通しての「調べる学習」支援</p> <p>調べものに使える図書、事典、子ども向け新聞、雑誌等バランスよく収集、提供します。</p> <p>② 新宿区立図書館を使った調べる学習コンクールに役立つテーマを中心にパスファインダーを作成します。</p> <p>図書館員に相談しやすいようカウンターに表示するほか、パスファインダーの使い方指導や積極的に声かけを行い、より多くのレファレンス件数に繋がります。</p> <p>夏休みに調べる学習用レファレンスイvent企画を行います。</p> <p>近隣学校との連絡を密にし、求めに応じて出張授業等を行います。</p>					
主な実績					
<p>図書・紙芝居等の収集、読書案内、行事企画</p> <p>赤ちゃん、幼児、小学生向けおはなし会を計90回実施しました。また、「市谷の杜 本と活字館」での体験講座や、「読んで挑戦！ 夏目漱石クイズ」を実施したほか、中町図書館との合同企画「杉山亮さんものがたりライブ」を開催しました。</p> <p>中高生向け読書推進イベントは「第5回つるまき本の帯デザイン賞」を開催しました（応募人数177人）。本の帯デザイン賞最優秀賞作品となった本の出版社より、「書店におく販売促進用POPのデザインにしたい」との申し出があり、帯の作者との橋渡しを行いました。令和7年3月現在、出版社で帯のデザイン使用について準備中とのことです。</p> <p>「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」等、年間を通しての「調べる学習」支援</p> <p>応募数は、小学生263点、中学生5点、高校生27点でした。出張授業を小学校2校に対して行い、児童向けのパスファインダーを18テーマ作成し提供しました。調べる学習用レファレンス企画として「調べたいを、おてつだい」を開催しました（参加人数85人）。</p>					
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
中高生向け読書推進イベント参加人数	177	180	98%	B	
おはなし会などのイベント参加人数	1,472	710	207%	A	
調べる学習に係るレファレンス件数	85	70	121%	A	
課題・今後の取組み					
<p>中高生世代向け読書推進イベントは、参加人数が目標値に届きませんでしたが、出版社や書店につながる取組みになりました。来年度はイベントの数を増して、区立中学校全校と区内都立高校にPRを行います。</p> <p>指標「おはなし会などのイベント参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（750 1,500。令和9年度目標値。参考資料参照）。</p> <p>指標「調べる学習に係るレファレンス件数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度の目標値を上方修正しました（80 85。参考資料参照）。指定管理事業者が変わって、初めての出張授業の反省から、子どもたちが楽しく調べる学習を進められるよう当館オリジナルの「つるさんの調べる学習ガイド」の冊子を作成中です。来年度から使用し学習支援に活かして行きます。</p>					

重点事業名	夏目漱石の魅力発信	主な基本方針 項目名	12 魅力あるイベントの実施		
<b>目的</b>					
<p>新宿区ゆかりの作家である夏目漱石の魅力を発信します。</p> <p>漱石山房記念館と連携して、イベントを開催します。漱石山房記念館と西落合図書館に訪れるきっかけを作り、両館での利用促進に寄与します。</p> <p>また、特別展示・朗読会を通じて、夏目漱石の魅力を発信し、幅広い世代が夏目漱石に親しむ機会を提供します。</p>					
<b>事業内容</b>					
<p>謎解き型イベント「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状」の実施</p> <p>概要：漱石山房記念館と西落合図書館の両施設に来館しないと解けない問題を作成し、謎解きイベントを実施します。</p> <p>対象：子どもから大人まで楽しめるように、謎解き冊子を「子ども」用と「大人」用の2種類作成します。</p> <p>時期：漱石山房記念館は、新宿区の小中学校が夏季休業中は入館料無料となるため、時期を合わせて実施します。</p> <p>夏目漱石にまつわる特別展示や朗読会の実施</p> <p>ミステリークエストの時期に合わせて、夏目漱石に関連する特別展示を実施します。</p> <p>夏目漱石関連作品の朗読会を実施します。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>謎解き型イベント「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状」の実施</p> <p>夏目漱石にまつわるクイズを作成し、漱石山房記念館と西落合図書館の2館を巡る謎解きイベントを実施しました（7/20～8/25、参加人数247人）。参加者の内訳は、一般205人に対し、小学生以下42人でした。また、両館を訪問した「謎解き終了者」は、136人でした。</p> <p>夏目漱石にまつわる特別展示や朗読会の実施</p> <p>特別展示「ミステリークエスト～夏目漱石のなぞに迫れ！～」（7/20～8/25、展示数54点、貸出数29点）を実施しました。また、夏目漱石関連作品『夏目家の糖みそ』の朗読会（10/27、参加人数9人）を実施しました。</p>					
<b>指標</b>	<b>R6実績値</b>	<b>R6目標値</b>	<b>達成率（％）</b>	<b>評価</b>	
ミステリークエスト参加人数	247	380	65%	C	
謎解き終了者数（両館訪問者数）	136	100	136%	A	
夏目漱石に関連する特別展示貸出数	29	40	73%	C	
夏目漱石関連作品の朗読会参加人数	9	22	41%	D	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>謎解き型イベント「ミステリークエスト」は、小学生以下の参加者数が少なかったため、今後は「クイズ」というキーワードを強調するなどの工夫を行い小学生以下の参加者を増やしていくことが課題です。指標「謎解き終了者数（両館訪問者数）」については、漱石山房記念館と西落合図書館双方にポスター・チラシを置き、どちらの館からもイベントに参加できるようにしたことで、目標値を達成できました。このため、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（180→200、令和9年度目標値。参考資料参照）。</p> <p>展示に関しては、貸出冊数が目標に達しなかったため、関連書籍の購入を増やすことで貸出増を図ります。</p> <p>朗読会は好評でしたが、参加人数が目標値に達しなかったため、参加人数が増えるよう朗読団体と協議し実施していきます。</p>					

重点事業名	子育て支援サービスの充実	主な基本方針 項目名	6 区民の課題解決支援 16 「新宿区子ども読書推進計画」 21 絵本でふれあう子育て支援	
<b>目的</b>				
住宅街に立地する西落合図書館は、親子連れの来館者が多いことが特徴です。このことから、乳幼児の保護者にも、より気軽に図書館に足を運んでいただける仕組みづくりを行うことによって、乳幼児が図書館に親しむ機会を提供し、継続的利用へとつなげていくことを目的とします。また、おはなし会等を通じて、子育て世代の交流の場を創出します。				
<b>事業内容</b>				
<p>子育て関連行事の実施</p> <p>赤ちゃんタイムを設け、児童コーナーで気兼ねなく自由に親子で読み聞かせできる時間を設けます。</p> <p>子育ての不安や疑問などを解決できるような子育て講座の実施、また講座中も安心して聴講できるように、託児付の講座を実施します。</p> <p>乳幼児向けの絵本の蔵書を増やし、また気軽に手に取れるようにテーマ展示をします。</p> <p>出張おはなし会の実施</p> <p>児童館や幼稚園・保育園などに出向き、おはなし会を実施します。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>子育て関連行事の実施</p> <p>図書館会議室で乳幼児対象の「おひざのうえのおはなし会」（11回、参加人数107人）を実施しました。また、グローバルキッズ西落合保育園と共催で「赤ちゃんと一緒に！ベビーマッサージと読み聞かせ」（1回、参加人数11人）を実施しました。</p> <p>乳幼児向けの蔵書を94点増やし、「月にあすすめ」や「月のえほん」などの展示を4回実施した結果、645点の貸出しにつながりました。</p> <p>乳幼児対象の「おひざのうえのおはなし会」では、会終了後に保護者同士の交流が生まれるなど、今後の図書館利用につながる効果が見られました。</p> <p>出張おはなし会の実施</p> <p>落合第三幼稚園出張おはなし会（3回、参加人数110人）を実施しました。</p>				
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
子育て講座の参加人数	11	14	79%	C
出張おはなし会の参加人数	110	30	367%	A
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>グローバルキッズ西落合保育園との共催で実施した「ベビーマッサージと読み聞かせ」は、終始アットホームな雰囲気で開催され、未就学児と保護者に好評でしたが、参加者数は目標値に達しなかったため、今後は周知方法を工夫し集客を図ります。</p> <p>指標「出張おはなし会の参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（40→125、令和9年度目標値。参考資料参照）。</p>				

重点事業名	地場産業や大学との連携	主な基本方針 項目名	9 区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援 10 博物館・大学等との連携		
目的					
西落合図書館周辺には、地域を支える様々な施設や団体があります。図書館は地域文化を支える役割も担っていることから、図書館が保有する情報や資源を通じて、地域の人々や団体との連携や協働が必要となります。そこで、地域ニーズに応じたサービスを展開することによって、地域の活性化、地域文化の普及、地域社会と繋がり、交流を創りだします。					
事業内容					
<p>地場産業の支援</p> <p>神田川・妙正寺川流域で昭和30年代に盛んであった染色業を、イベントを通して支援します。</p> <p>染の小道実行委員会が行っている「百人染め」に協賛し、図書館利用者向けに反物を染める体験を提供します。</p> <p>染物に関する講座を実施し、地域文化の理解を深めます。</p> <p>目白大学との連携イベント「親子講座」</p> <p>大学と協力して、親子で一緒に取り組むゲームやおはなし会などの子ども向けのイベント「親子講座」を実施します。行事参加者には、親子で楽しめる場を提供し、地域の大学との接点を作ります。一方、大学側には、地域住民や子どもと触れ合える機会を提供します。</p>					
主な実績					
<p>地場産業の支援</p> <p>染物体験「みんなで「百人染め」！（10/6、参加人数30人）を野外で実施したことにより、公園で遊んでいた子どもたちの参加が数多くありました。</p> <p>「新宿学講座 新宿の染物」（12/1、参加人数14人）を実施し、「染の種類について歴史を理解できて楽しかった」「染物の体験ができて楽しかった」などの感想が寄せられました。</p> <p>目白大学との連携イベント「親子講座」</p> <p>親子講座「はらぺこガエルにおやつをあげよう～工作と手遊び～」 「節分のお面作りと的当て遊び」（6/15・1/25、参加人数63人）は、目白大学の学生と共催で開催しました。親から離れて楽しむ子どもたちの様子がうかがえたり、大学生と作った工作を使って楽しく遊ぶ様子も見られました。</p>					
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
染物講座参加人数	14	10	140%	A	
親子講座の参加人数	63	20	315%	A	
課題・今後の取組み					
<p>各指標については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（染物講座参加人数：18 25。親子講座の参加人数：30 75。いずれも令和9年度目標値。参考資料参照）。</p> <p>染物講座は、地域に密着した内容ということもあり、住民の方々に好評で関心も高い講座となっています。今後も継続して開催していきます。</p> <p>親子講座は、共催する目白大学の学生にとっても、実際に乳幼児に触れ合うことができる貴重な実地体験となっているため、今後も継続していきます。</p>					

重点事業名	障害者サービスの充実	主な基本方針 項目名	8 外国人・障害者・高齢者に対する支援 15 区民との協働	
<b>目的</b>				
<p>新宿区立図書館の障害者サービスの拠点館として、障害がある方の生活を豊かにする一助となるよう読書支援を行います。専門家による講演や研修会を実施し、地域住民が様々な障害について知ることができる機会を提供します。館報を通じて、定期的に障害者サービスを紹介し、館外に発信することによって図書館障害者サービス認知度向上を図ります。</p>				
<b>事業内容</b>				
<p>障害がある方への読書支援 区民等で構成するボランティア団体「声の図書館研究会」と協働で、図書資料の本文を音声で読み上げるデジタル図書（DAISY図書）の製作・提供をします。 視覚・聴覚に障害があっても楽しむことができるバリアフリー映画を上映します。 視覚障害者が中心となって活動するトークパフォーマンスグループ「こぼこの会」による朗読会を実施します。 福祉作業所通所者を対象とした図書館見学・出張図書館を実施します。</p> <p>障害者への理解を深める講演や研修会の実施 専門機関から講師を招き、障害者を家族に持つ方や地域住民を対象として、障害に関する知識を深める研修会等を実施します。あわせてオンライン上で公開し、来館できない方に向けても情報を発信します。 盲導犬との生活などをテーマに講演を企画し、障害がある方を講師に招くことで、障害のある人への理解を深めます。</p> <p>障害者サービスの情報発信 館報「戸山図書館だより」に障害者サービスや関連トピックを紹介した記事を掲載し、障害者サービスについて広く周知を行います。上記(1)のトークパフォーマンスグループによるオンライン朗読会を製作・配信し、障害者の活動を広く紹介します。配信のみとしており、集客イベントではありません。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>障害がある方への読書支援 新たにDAISY図書を38タイトル作成し、所蔵数は836タイトルで目標値に概ね達成しました。 バリアフリー映画会「博士の愛した数式」（11月、参加人数34人・うち視覚障害者2人）を実施しました。 トークパフォーマンスグループ「こぼこの会」による朗読会（3回、参加人数85人）を実施しました。 福祉作業所通所者を対象とした図書館訪問や出張図書館（10回）を実施しました。</p> <p>障害者への理解を深める講演や研修会の実施 研修会「読まない人」を「読みたい人」に」（9月、会場とWEBの合計参加人数67人）を実施しました。 「ほじょ犬を知ろう！～障害がある人のくらしのパートナー～」（6月、参加人数21人）を実施しました。また、「耳で楽しむパードウォッチング」（5月、参加人数39人）「触れて味わう山登り～3D 模型で行く富士・箱根～」（10月、参加人数21人）を実施しました。</p> <p>障害者サービスの情報発信 視覚支援機器、バリアフリー朗読動画、マルチメディアDAISY図書を紹介しました。 出版社「銀の鈴社」提供による絵本、青空文庫で公開されている4つ作品をオンライン朗読会として製作し、配信しました。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
DAISY図書の所蔵数（当館製作分）	836	840	99%	B
講演や研修会の参加人数	148	120	123%	A
オンライン朗読会の配信数	4	4	100%	A
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>障害者理解の推進を目的とした事業における参加人数は目標値には達しませんでした。地域住民に対する適切な情報提供を行うことはできたと考えています。今後はより多くの方に事業の開催情報が届くよう、SNSの活用や他施設へのポスター掲示依頼など広報を積極的に行い、幅広い世代の事業参加率の向上を目指します。目標値に達しているDAISY図書の所蔵数・オンライン朗読会の配信数についても、子どもから大人まで、幅広い障害者を視野に入れ製作を続けていきます。</p> <p>指標「講演や研修会の参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（150→160、令和9年度目標値、参考資料参照）。</p>				

重点事業名	地域資料の充実と情報発信	主な基本方針 項目名	2 地域資料の充実 12 魅力あるイベントの実施	
<b>目的</b>				
資料展示や講演会のテーマに地域特有の歴史やゆかりのある人物を取り上げることで、地域に対する愛着や学びを深めると共に、多様な情報を提供することによって「区民にやさしい知の拠点」として、図書館の魅力を発信します。				
<b>事業内容</b>				
<p>地域資料の収集 新宿区に関連する資料についてはこれまでも収集しているところですが、尾張徳川家下屋敷・戸山陸軍学校等の地域史に関連した資料について積極的に収集していきます。</p> <p>地域に関連する資料展示の実施 地域史や新宿ゆかりの人物に関連したテーマを設定し、所蔵資料を活用した資料展示を実施します。 博物館をはじめとした関係機関の協力を得て、読み物として充実した内容のパスファインダーを作成します。</p> <p>地域に関連するイベントの実施 博物館などの専門機関から、講師を招き、地域住民の興味関心を広げることができる講演会を実施します。 講師から許諾を得ることができる講座に関しては、オンライン上でも講演会を公開します。 近隣の施設や史跡へのフィールドワークを開催します。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>地域資料の収集 地域資料は引き続き、収集を続けており、目標値を目指して少しずつ増加を図っています。令和7年1月から3月にかけて、戸山陸軍学校をテーマとした展示の開始に際し、新たに関係資料を5点受け入れしました。</p> <p>地域に関連する資料展示の実施 新宿ゆかりの人物を取り上げた展示として、「新宿で生まれた遠野物語～柳田国男の世界で遊ぶ～」(11月～12月、展示数109点)を実施し、地域史を取り上げた展示として、「文明開化と戸山ケ原～大名屋敷から陸軍の町へ～」(1月～3月、展示数93点)を実施しました。 新宿歴史博物館、遠野市立博物館から写真画像の提供を受け、パスファインダーを製作し、配布しました。</p> <p>地域に関連するイベントの実施 ア 柳田国男と日本民俗学講習会(12月、参加人数33人) イ 郷土史講座「徳川昭武と陸軍戸山学校」(2月、参加人数41人) ウ 郷土史講座「明治時代の牛込と作家たち」- 田山花袋「東京の三十年」を中心に - (2月、参加人数16人) エ 陸軍戸山学校こぼれ話「国産フルーツ誕生とフルーツコンサート」(3月、参加人数73人) 上記ア、イについてはオンライン配信も行いました。 漱石山房記念館見学ツアー &amp; ミニ講演会(7月、参加人数23人)</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率(%)	評価
地域資料所蔵数(全体数)	1,582	1,600	99%	B
パスファインダーテーマ作成数	7	9	78%	C
イベント参加人数	186	30	620%	A
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>地域ゆかりの人物や地域史に関連した事業、資料展示は利用者から要望が多く、参加人数や貸出数についても一定の支持が得られています。パスファインダーテーマ数は目標値に届きませんでしたが「文明開化と戸山ケ原～大名屋敷から陸軍の町へ～」を891部配布し、多くの方へ情報を提供することができました。また展示内容の調査を進める内に、様々な専門家と出会い、協力のお申し出をいただけたことで、魅力的なイベントを提供でき、多くの参加者を集めることができました。パスファインダーのテーマの数を増やすことよりも、手にとって読みたいと感じるような魅力ある内容の充実したパスファインダーを製作することが重要と考えているため、今後も大きくテーマ数を増やす形ではなく、内容重視で製作・配布を続けていきます。</p> <p>指標「イベント参加人数」については、当初計画になかった「陸軍戸山学校こぼれ話」を実施したことにより、目標値を大きく上回りました。このことから、令和7年度以降の目標値を上方修正しました(45→100、令和9年度目標値、参考資料参照)。</p>				

<b>重点事業名</b>	高齢者サービスの充実	<b>主な基本方針 項目名</b>	8 外国人・障害者・高齢者に対する支援		
<b>目的</b>					
65歳以上の方の居住率が50%を超える地域にある図書館として、シニアに需要のある資料を充実させます。 あわせて、スマートフォンなどの最新情報機器や健康に関する正しい知識を得ることができるシニア向けのイベントを実施することにより、高齢者の健康増進や生活を豊かにする支援を行います。					
<b>事業内容</b>					
<p>アクティブシニアコーナーの充実</p> <p>食事、体力維持、スマホ操作などシニアが関心のある様々な分野について、高齢者向けの資料等を「アクティブシニアコーナー」として別置しています。</p> <p>このコーナーの内容をより充実させ、利用を促進します。</p> <p>高齢者を対象としたイベントの実施</p> <p>通信会社や病院から専門家を招き、スマートフォン講座や医療セミナーを実施します。</p> <p>健康部など区の機関と連携し、イベント開催及び情報発信をします。</p> <p>クリアソン新宿や新宿区社会福祉協議会と連携して、年齢に関係なく地域住民同士が交流ができ、健康増進に繋がる軽スポーツイベントを実施します。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>アクティブシニアコーナーの充実</p> <p>コーナーのスペースを拡充し、新たな資料も受け入れたことによって、所蔵数・貸出数ともに目標値を超えました。</p> <p>高齢者を対象としたイベントの実施</p> <p>スマートフォン講座（6月、参加人数14人）、医療セミナー（9月、参加人数33人）を実施しました。</p> <p>区主催事業である在宅療養シンポジウムに協力し、メイン会場である東京女子医科大学への移動が困難な高齢者のため、戸山生涯学習館に第2会場（WEB会議システムでメイン会場の様子を中継）を設置（11月、参加人数16人）しました。</p> <p>クリアソン新宿の選手をインストラクターに招き、「みんなでわいわい！サッカーボウリング」（3月、参加人数6人）を実施しました。</p>					
<b>指標</b>		R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
アクティブシニアコーナーの所蔵数		429	320	134%	A
アクティブシニアコーナーの貸出数		2,897	1,600	181%	A
イベント参加人数		69	40	173%	A
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>アクティブシニアコーナーは好評を得ていますが、所蔵スペースには限界があるため、今後の所蔵数増加は緩やかに進めていきます。イベント面では、サッカーボウリングは3年連続で開催しましたが、参加者数が伸び悩んでいるため、実施時期や周知方法などを再検討し、高齢者が楽しく体を動かす機会を提供します。また平日の日中に要望が多い「クラフト講座」（折り紙や手芸などの工作を楽しみながら人間関係作りを目指す講座）を実施し、読書への誘いと人間関係作りを目指していきます。</p> <p>各指標については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（アクティブシニアコーナーの所蔵数：380→440、アクティブシニアコーナーの貸出数：1,750→2,920、イベント参加人数：50→80。いずれも令和9年度目標値。参考資料参照）。</p>					

重点事業名	多文化共生地域における図書館サービスの充実	主な基本方針 項目名	8 外国人・障害者・高齢者に対する支援		
<b>目的</b>					
多文化共生地域であることを意識し、外国語資料の充実を図るほか、異文化に触れる企画等を実施します。このことにより、地域の人々にとって利用しやすい図書館環境の整備に努め、図書館の利用促進、地域交流の機会の創出を目指します。					
<b>事業内容</b>					
<p>外国語資料の積極的な収集、更新</p> <p>外国語資料および日本語を母語としない利用者のための日本語学習用資料を収集します。</p> <p>多文化体験イベントの実施</p> <p>外国語のおはなし会や、多文化体験イベントなど、異国の文化や言葉に親しむイベントを実施します。また、イベント開催時には関連図書展示を実施し、図書館資料によって多文化への理解がさらに深まるよう、工夫して取り組みます。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>外国語資料の積極的な収集、更新</p> <p>英語、中国語、韓国語の他、ベトナム語資料を新たに増やしました。</p> <p>受入数：英語 71冊（一般55冊、児童16冊）、中国語 31冊（一般27冊、児童4冊）、韓国語 25冊（一般12冊、児童13冊）、ベトナム語 4冊（一般4冊）、外国語資料のうち日本語学習資料 6冊（中国語2冊、ベトナム語4冊）</p> <p>多文化体験イベントの実施</p> <p>日本語学習者等を対象に「日本語に親しむおはなし会」（5月、参加人数6人）を開催しました。参加者の交流の場となり、日本語の文化に触れて、図書館に親しみを持ていただく機会を創出しました。</p>					
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
外国語資料受入数（一般）	98	140	70%	C	
外国語資料受入数（児童）	33	60	55%	C	
日本語学習用資料の受入数	6	20	30%	D	
多文化体験イベントの参加人数	6	20	30%	D	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>外国語資料は引き続き収集、更新に努めます。アジア圏の利用者が増えているので、ベトナム語等アジア諸言語の資料数を増やしていく必要があります。</p> <p>多文化体験イベントは、多文化への理解が深まるようなイベントにしていくことが課題です。今後はおはなし会や異国の文化、言葉に親しむ事業等を企画していく必要があります。</p>					

重点事業名	区各部署や近隣地域団体との連携事業	主な基本方針 項目名	6 区民の課題解決支援		
<b>目的</b>					
区各部署や近隣地域団体と連携し、多彩な事業を実施することで、区民の課題解決支援のきっかけづくりを目的とします。地域図書館として、図書館をより身近な施設と感じていただけるような取組みを実施します。					
<b>事業内容</b>					
<p>区各部署と連携した健康に関する講座の開催、関連展示の実施</p> <p>区内施設、区各部署より講師を招き、健康に関する講座を開催します。また、関連展示を実施することで、図書館と関連資料の幅広い利用促進に取り組みます。</p> <p>区内ボランティアとの協働</p> <p>館内の整備（書架整理、配架など）やおはなし会、家庭配本、事業実施など、ボランティアの方の協力を得て地域にとってより身近な図書館を目指します。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>区各部署と連携した健康に関する講座の開催、関連展示の実施</p> <p>健康部との連携による「女性の健康週間」展示（2/21～3/20）、「自殺防止週間 マインド・リセット」展示（9/20～9/30）、「在宅療養ってなあに？～往診・訪問診療～」展示（11/13～11/30）を行いました。また、福祉部との連携による「老いと向き合う 老いによりそう」展示（9/1～10/6）を実施しました。</p> <p>なお、対象者を女性に限定せずに健康講座を開催することとし、「女性の健康講座」の代わりに、認知症の当事者による「認知症を知る講演会・原画展」（10/5）を開催し、41人が参加しました。柏木高齢者総合相談センターに広報を依頼し、当事者や当事者家族の参加を募りました。</p> <p>区内ボランティアとの協働</p> <p>配架・書架整理を行う図書館サポーターは1人でしたが、2人増え、計3人の図書館サポーターが月に9回程度配架等を実施しました。このほか、おはなし会を行う図書館サポーター1人が月1回程度活動し、子どもたちを楽しませました。</p> <p>区内近隣の保育園の保育士におすすめ本を紹介していただき、子育て支援のひとつとして、紹介本を展示しました。</p> <p>早稲田大学落語研究会による寄席を開催したほか、同大学児童文化研究会による「わくわく人形劇」を開催しました。</p>					
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
女性の健康講座参加人数	0	15	0%	D	
健康講座関連展示貸出回転率	0.60	0.75	80%	B	
図書館ボランティア受入人数	4	5	80%	B	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>指標「女性の健康講座参加人数」については、令和7年度以降、対象者を女性に限定しない「健康講座参加人数」へ変更する見直しを行いました（参考資料参照）。</p> <p>ボランティア受入人数を増やすことと、区内のボランティアとの協働事業を実施することが課題です。今後は、おはなし会など区内ボランティアと協働で取り組んでいくことを検討します。近隣団体との連携事業は引き続き取り組んでいきます。</p>					

重点事業名	環境に配慮した図書館	主な基本方針 項目名	6 区民の課題解決支援		
<b>目的</b>					
SDGsが掲げる、「2030年までに持続可能でよりよい社会を目指す目標」の達成に向けて、図書館と利用者の方が共に学び、何ができるか考え、実践することによって、区民の興味関心を高め、一人一人が取り組むという意識の向上を図ります。					
<b>事業内容</b>					
<p>SDGs関連展示、講座の実施</p> <p>SDGs関連展示を実施します。また、17のゴールに沿った講座を開催し、区民のSDGsの取り組みへの興味関心を喚起します。</p> <p>区民と協働でのみどりのカーテンプロジェクトへの参加</p> <p>「新宿みどりのカーテンプロジェクト」に参加し、ボランティアと共にみどりのカーテンの育成に取り組みます。あわせて関連展示を実施します。</p> <p>その他の取組み</p> <p>館内では、利用者の方にもご協力いただき、メモなどに裏紙を使用します。事務室内でも個人情報が入字されていないことを十分に確認の上、裏紙使用を徹底します。また、印刷物や配布物には、再生紙を利用し、資源の削減を目指します。併せて、LED照明へ順次変更し、電気使用量の削減に努めます。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>SDGs関連展示、講座の実施</p> <p>「福島ひまわり里親プロジェクト」ひまわり観察日記関連展示（8/13～9/27、展示数133点、貸出数212点）を実施したほか、「SDGs講座 リサイクルについて学んで、古布でコースターをつくろう！」（3/22、参加人数13人）を実施しました。新宿リサイクル活動</p> <p>センター職員を講師に招き、古布コースター作りを通してリサイクルについて学んでいただきました。</p> <p>区民と協働でのみどりのカーテンプロジェクトへの参加</p> <p>申請期間内に施設内での調整ができなかったため未実施となってしまいましたが、代替として「福島ひまわり里親プロジェクト」を実施しました。</p> <p>その他の取組み</p> <p>個人情報等が入字されていないことを確認の上、事務作業に裏紙を使用しました。印刷物や配布物には再生紙を利用し、資源の削減に努めました。館内の照明をLEDに変更しました。ペットボトルのキャップを回収し、エコキャップ運動に取り組んでいます。</p>					
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
SDGs関連講座開催数	1	1	100%	A	
SDGs関連展示貸出回転率	1.59	0.75	212%	A	
みどりのカーテンボランティア受入人数	-	-	-	-	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>「福島ひまわり里親プロジェクト」は、生育不良のためひまわりの種がとれませんでした。今後も引き続き事業を行い、ひまわり観察日記で種が取れるまでを記録していきます。図書館が利用者と共に学び、SDGsの取り組みへの関心を喚起するため、環境に関する事業を継続します。</p> <p>指標「SDGs関連展示貸出回転率」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（1.10→1.70、令和9年度目標値。参考資料参照）。</p> <p>指標「みどりのカーテンボランティア受入人数」については、みどりのカーテンに限定せず植物栽培に取り組むこととし、令和7年度以降の指標を「みどりのカーテン等、植物栽培ボランティア受入人数」に変更したほか、目標値を下方修正しました（6→3、令和9年度目標値。参考資料参照）。</p>					

中町図書館

重点事業 1

重点事業名	地域団体との連携によるアウトリーチ活動	主な基本方針 項目名	10 博物館・大学等との連携 12 魅力あるイベントの実施		
目的					
<p>中町図書館は、地域密着型の図書館です。近隣の団体や施設、企業との連携を中心としたアウトリーチ活動を重点的に実施しています。様々な団体等との連携によって、図書館の蔵書との出会いだけでなく、図書館を飛び出して、ヒトやモノ、知識との出会いを創出する活動に力を入れ、地域に根差した図書館の役割を果たしていきます。</p>					
事業内容					
<p>近隣団体との連携事業の実施          児童向けに東京理科大学大学院との連携による算数講座や、偕成社との連携による出版社の見学会を実施して、子どもの読書活動を推進します。また、児童館、子ども園などへの出張おはなし会を実施します。          大人向けに東京日仏学院の見学会やフランス語のおはなし会を行い、相互交流を図るなど、近隣の団体や施設、企業と連携し、各所の特徴を生かした事業を実施することで、利用者に多様な読書機会と学習機会を提供します。</p> <p>地域の祭りや行事への参加          神楽坂まち飛びフェスタ、牛込笹笥地域まつり、神楽坂ストリート川柳等に参加し、地域での認知度向上を図って図書館利用を促進します。          「まちかど図書館」の拡大と充実          現在、牛込笹笥地域センターに設置している「まちかど図書館」を拡大します。          「まちかど図書館」とは、図書館のリサイクル資料を活用することで、図書館に来館しづらい方にも本に出会える場所を作る事業です。          図書館案内なども置き、来館の動機付けにも繋がる工夫をします。</p>					
主な実績					
<p>近隣団体との連携事業の実施          地域連携による子ども読書活動の推進          出張おはなし会の実施（あいじつ子ども園ほか）（50回、参加人数684人）          「絵本でふれあう子育て支援事業（牛込保健センター）」（12回、参加人数384人）          夏休み社会科見学「偕成社へ行こう！」（7/23、参加人数18人）          近隣の団体や施設、企業との連携          フランス語のおはなし会（東京日仏学院）（5回、参加人数56人）          「海からの恵 塩づくりに挑戦！→海の日に世界に一つだけの塩をつくろう～（株）天塩」（7/15、参加人数16人）          鶴巻図書館×中町図書館合同企画「はじめての矢来楽楽堂」（11/3、参加人数34人）          中町シネマ（中町地域交流館）（4回、参加人数73人）          中町地域交流館合同企画 健康講演会「老年期を笑顔で送るために～運動、栄養、そして心」（9/13、参加人数27人）          「大人のためのおはなし会 冬の贈りもの（中町地域交流館）」（12/7、参加人数9人）          「図書館員がおすすめる 読書で脳活～本でいきいき！～（新宿区社会福祉協議会）」（3/6、参加人数54人）</p> <p>地域の祭りや行事への参加          「神楽坂まち飛びフェスタ2025」の「中町図書館案内所」（10/20、受付人数322人）、「本のリサイクル市」（9回、705点）          「みんなの部屋 クリスマススペシャル」（笹笥地区青少年育成委員会）（12/15、参加人数32人）          「ウィンターフェスタ（中町児童館）」（12/22、参加人数48人）          「ファミリーコンサート（中町児童館）」（2/16、参加人数36人）          「まちかど図書館」の拡大と充実          牛込笹笥地域センター：191点、中町地域交流館（新規追加）：249点</p>					
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
近隣団体との連携事業実施件数	90	12	750%	A	
地域行事参加数	4	3	133%	A	
「まちかど図書館」設置件数	2	2	100%	A	
課題・今後の取組み					
<p>指標「近隣団体や施設との連携事業実施件数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（15→60、令和9年度目標値、参考資料参照）。</p> <p>地域の行事や祭りには、「神楽坂まち飛びフェスタ」を中心に参加することができました。善國寺（毘沙門天）門前にブースを出した「中町図書館案内所」では、近隣の方に中町図書館の認知度を高めることができました。さらに地域での認知度を高めるために、地域行事への参加や「まちかど図書館」の設置など、様々な機会を設けて、利用の促進につなげていきます。</p>					

<b>重点事業名</b>	地域を知るための図書館	<b>主な基本方針 項目名</b>	12 魅力あるイベントの実施 13 多様な学習機会の提供	
<b>目的</b>				
<p>図書館が位置する牛込・神楽坂地域について、地域を知るための様々な取組みを行い、地域を知るきっかけを作ります。また、近隣地域の魅力を伝え、発見できるような取組みを目指します。</p> <p>あわせて、地域資料の収集に努めることによって地域資料コーナーの充実を図り、地域について調べる利用者に対応できるようにします。</p>				
<b>事業内容</b>				
<p>マップの発行とまち歩きの実施</p> <p>牛込・神楽坂地域を知るためのマップを発行し、郷土史家によるまち歩きを実施します。</p> <p>令和5年度までは神楽坂地域を中心にテーマを変えてマップを作成していましたが、令和6年度からは牛込地域全体に拡大して作成します。</p> <p>作成したマップを活用したまち歩きを実施して、近隣地域の魅力を発見する機会を作るとともに、まち歩きに関する展示などを行い、参加できなかった利用者にも発信します。</p> <p><b>地域資料の充実</b></p> <p>地域資料の充実を図り、地域について調べる利用者のニーズに応えます。</p> <p>神楽坂地域の関連蔵書数375点（令和5年9月現在）を見直すとともに、新規資料の購入や地域のパンフレット資料などを収集し、充実を図ります。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>マップの発行とまち歩きの実施</p> <p>「神楽坂 本のまちマップ2024」を1,000部発行しました。今年度のテーマは「神楽坂が舞台の小説・エッセイ」でした。</p> <p>マップと連携したまち歩きについては、講師と調整ができず実施に至りませんでした。</p> <p><b>地域資料の充実</b></p> <p>神楽坂関連資料の収集にあたっては、神楽坂の街の活性化に取り組んでいる老舗店で構成された「神楽坂おかみさん会」（神楽坂文化振興倶楽部）の協力により、地域ゆかりの人物に関する図書『立壁正子の仕事』（「立壁正子の仕事」をつくる会：編）を所有している方を探していただき、寄贈いただくことができました。このほか、地元商店会発行のマップの収集や、中町図書館が取材を受けた新聞記事閲覧資料として所蔵するなど、様々な地域資料の収集に努めました。</p>				
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
マップの発行部数	1,000	1,000	100%	A
牛込・神楽坂地域資料所蔵数	382	380	101%	A
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>まち歩きについては、「本のまちマップ」のテーマ設定が、講師の郷土史家のまち歩きと連携しづらい内容だったため、調整ができず実施できませんでした。今後は、まち歩きとの連携を念頭に置いて、まち歩きに適したマップ制作を行う必要があります。</p> <p>地域資料の充実については、既発行の資料で、古書店でも入手できないものを地域の団体にご相談して入手できたことなど、地域とも連携して収集できたことは意義のあることでした。また、近隣大学研究室の教授の退官に伴って資料の寄贈を受ける機会がありました。これらの活動から、地域との連携が資料収集に結びつきました。今後も、パンフレット資料など、この地域でしか入手できない資料収集にも積極的に取り組んでいきます。</p>				

重点事業名	子どもの成長を応援する図書館	主な基本方針 項目名	18 読書活動への支援 20 学校等との連携	
目的				
<p>子どもを対象に様々なイベントを実施して、読書を通じた成長を促し、成長を見守ります。 読書離れが起こる中高生を対象とした働きかけに特に力を入れるほか、乳幼児向けには、保護者などの子どもを取りまく大人を対象にした講座等を実施して、読書に親しむ環境作りを支援します。 家庭での読書環境を醸成するため読書記録をつけることを目指し、子どもが参加し自ら作成できる事業として「読書ノートをつくらう」を実施します。</p>				
事業内容				
<p>近隣学校との連携事業の実施 近隣学校との連携では、「中学生のオススメの本」の発行を継続事業として毎年作成します。 新規事業として、本を通じた中高生と大学生の交流イベントを企画して子どもたちの成長を支援します。 あわせて、学校への出張授業等を実施します。 保護者向け講座の実施 幼い子どもたちの読書機会を増やすために、子どもを取り巻く大人への講座を実施します。 家庭での読み聞かせや語りかけを支援する保護者向けの講座を企画します。 例えば、「手遊び講座」は0～2歳の子どもとその保護者を対象に親子で参加できる講座とします。 「読書ノートをつくらう」の実施 子ども自身が参加できる企画として、「読書ノートをつくらう」を季節ごとの定例イベントとして年4回実施します。</p>				
主な実績				
<p>近隣学校との連携事業の実施 ・「東京理科大学連携講座」(7/20、参加人数9人) 開催2回のうち1回を中学生対象として、東京理科大学内の博物館等の見学など、将来の進路を考える一助となるような交流と学内の見学を実施しました(講師:東京理科大学大学院生)。 ・「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」支援事業(出張授業)(津久戸小学校、市谷小学校)(6回、参加人数213人) ・職場体験(牛込第一中学校、牛込第三中学校、新宿西戸山中学校)(3回、参加人数6人) ・図書館見学(市谷小学校)(11/27、参加人数11人) ・牛込第三中学校連携展示「POPでつながる本のリレー 次、なに読む?」(1/15～2/28、展示数31点) ・中学生と先生のオススメの本 Vol.10(3/1) 発刊10年目の記念号として、過去の表紙(中学生の作品)特集ページを組み、連携した牛込第一中学校、牛込第三中学校と中町図書館内で配布しました。 保護者向け講座の実施 ・鶴巻図書館×中町図書館合同企画「杉山亮さんのものがたりライブ」(8/21、参加人数53人) 対象は大人から子どもまでとして、親子で楽しめる講演となりました(講師:児童書作家 杉山亮氏、会場:牛込笹笥地域センター)。 「読書ノートをつくらう」の実施 ・はるのまき(4/28)、なつのまき(7/28)、あきのまき(10/27)、ふゆのまき(1/26)(計4回、参加人数15人)</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率(%)	評価
近隣学校との連携事業実施回数	13	12	108%	A
保護者向け講座参加人数	53	8	663%	A
課題・今後の取組み				
<p>近隣学校との連携事業については、継続して実施している事業も多いので、引き続き連携を取りながら実施していきます。 指標「保護者向け講座参加人数」については、当初計画になかった講演会を実施したため目標値を上回りました。このことから、令和7年度以降の目標値を上方修正しました(14 65、令和9年度目標値、参考資料参照)。 「読書ノートをつくらう」は、中町図書館職員が講師となり児童コーナーを会場として実施するため、定員は1回5人と少数ですが、年に4回、定期的に継続実施することにより、家庭での読書支援になっていると考え、今後も継続して実施します。</p>				

重点事業名	ビジネス支援事業の強化	主な基本方針 項目名	1 資料の充実 9 区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援 12 魅力あるイベントの実施		
目的					
ビジネス支援の拠点館として、社会の変化に対応した資料収集や、講座を行います。特に、勤務形態の多様化や、AIのビジネス活用など、変化していく現状に対応した資料を収集し、働く人のニーズに応えます。 また、起業を志す人が、そのための専門知識やノウハウを得られるよう、展示や講座及び相談会を通じて支援します。					
事業内容					
ビジネス関係資料の重点収集 AIのビジネス活用や、兼業・副業（ダブルワーク）、SDGs・ESG関連資料など、利用者の関心の高い資料を中心に資料を収集します。また、社会状況の変化や法律改正に対応して、除籍と買い替えを行います。 ビジネス展示の充実 起業展示コーナーの資料を常に最新のものに入れ替えていくことで、貸出しを促進します。あわせて、年に1回程度、図書館入口付近の展示スペースで、ビジネス資料の展示を行い、ビジネス支援の取組みを周知します。 ビジネス講座の開催 他区の図書館や地域の士業と連携し、起業についての講座、相談会を開催します。また、働く世代向けの、ライフプランに関する講座を開催します。共に、オンラインでのリアルタイム配信や、YouTubeでの配信を行います。					
主な実績					
ビジネス関係資料の重点収集 今年度はAIのビジネス活用54点、兼業・副業（ダブルワーク）9点、SDGs7点、ESG8点の資料を収集しました。また、ビジネス関係資料の新規購入は937点、除籍は994点でした。書架の空き容量が厳しいため、やや除籍多数となりました。 ビジネス展示の充実 起業展示コーナーの資料867点のうち、45点を新規購入しました。また、「社会人のためのIT基礎スキル」展示（5/1～5/31、展示数128点、貸出数109点）を実施しました。 ビジネス講座の開催 港区立三田図書館・江東区立東陽図書館と連携し、創業セミナー（5月～6月、全3回講座、参加人数28人）、ハラスメント対策講座（7/6、参加人数5人）、年金講座（9/21、参加人数5人）、NISA講座とライフプランに関わる講座（12月・1月、参加人数46人）、『キャリアアップに活かす「伝わる」文章術」講座（3/8、参加人数19人）を行いました。					
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
ビジネス資料貸出数	15,285	14,200	108%	A	
講座参加人数	103	35	294%	A	
相談会参加人数	9	20	45%	D	
課題・今後の取組み					
資料収集に関しては大きな課題は見当たらないものの、近年話題に上るテーマに関する資料をより幅広く収集することが求められることを踏まえて資料を収集していきます。 ビジネス展示は回数を増やし、さらなる貸出増につなげます。ビジネス講座は概ね好評ですが、ビジネス情報支援相談会の参加人数が目標値に達しなかったことから、館内ポスターの掲出を増やす、ビジネス関連資料の利用者へチラシをお渡しするなど、周知方法を検討する必要があります。 指標「ビジネス資料貸出数」及び「講座参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（ビジネス資料貸出数：15,000 15,500。講座参加人数：50 120。いずれも令和9年度目標値。参考資料参照）。					

<b>重点事業名</b>	子どもたちが親しみやすい図書館	<b>主な基本方針 項目名</b>	16 「新宿区子ども読書活動推進計画」 19 区立図書館の利用促進 20 学校等との連携	
<b>目的</b>				
<p>子どもたちが本に触れ、本に親しむ機会を拡充し、子どもたちにとって親しみやすく、身近な図書館を目指します。 地域の小中学校および保育園・幼稚園・子ども園や児童館など子ども関係施設と連携して、個々の状況や、年齢、発達段階に応じた読書活動を支援します。 西新宿小学校の校舎増設に伴う、児童数の増加を見越して、新規利用者の増加に努めます。</p>				
<b>事業内容</b>				
<p>小中学校との連携推進 図書館の見学会や学校訪問、職場体験の受け入れ、団体貸出などを活用し、学校と図書館との連携を推進します。 子ども関連施設へのおでかけおはなし会 本に親しみを持ってもらうために、学校や保育園、子ども園、児童館、養護学校など要望のある子ども関連施設において、おでかけおはなし会を実施します。館内で実施するおはなし会は継続しつつ、おでかけおはなし会をより強化していきます。 学校図書館との連携 近隣の小中学校の学校図書館と連携し、授業内容に即した資料の収集、展示、イベント等を実施します。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>小中学校との連携推進 図書館見学 西新宿小学校の2年生を対象に図書館見学（9月、参加人数54人）を行いました。 職場体験 新宿西戸山中学校、西新宿中学校から職場体験（11月、参加人数4人）を受け入れました。 子ども関連施設へのおでかけおはなし会 西新宿児童館（10回、参加人数166人）、西新宿子ども園（5/31、参加人数69人）、新宿養護学校（4回、参加人数37人） 学校図書館との連携 西新宿小学校のテーマ選択学習の中で、読書会や物語の作り方講座、子どものための哲学（P4C）を行うことができた一方で、学校図書館との連携は進めることができませんでした。</p> <p>P4C（Philosophy for Children）：子どもたちが自ら問いを立て、対話を通して思考を深める教育実践のこと。</p>				
<b>指標</b>	<b>R6実績値</b>	<b>R6目標値</b>	<b>達成率（％）</b>	<b>評価</b>
見学会・職場体験実施回数	3	3	100%	A
おでかけおはなし会参加人数	272	240	113%	A
連携する学校図書館数	-	1	-	-
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>指標「おでかけおはなし会参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度の目標値を上方修正しました（260→275。参考資料参照）。</p> <p>指標「連携する学校図書館数」については、学校図書館との連携だけでなく、学校全体との連携を含む児童・保護者向け講座を実施することとし、令和7年度以降の指標を「学校で実施する講座の参加人数」に変更したほか、目標値についても上方修正しました（30→33。令和9年度目標値。参考資料参照）。</p>				

重点事業名	区民が集う場と機会の創出	主な基本方針 項目名	12 魅力あるイベントの実施 19 区立図書館の利用促進		
目的					
利用者の関心が高い、一般、児童、学習支援を3本の柱とする魅力あるイベントを実施することにより、資料を借りに来る来館者のみでなく、図書館自体を役立ち、楽しめる施設として認知してもらうことを目的とします。					
事業内容					
<p>実施イベントへの反響、満足度をアンケートにより検証し、イベントの継続、廃止、新規導入を行い、結果的に参加人数の増加を目指します。またオンラインでの配信やリアルタイムでの参加へのトライアルもを行い、新規利用者の獲得を目指します。</p> <p>一般行事（ビジネス支援講座を含む）                  ビジネス支援講座に関しては、「起業支援」を中心に、既存の人気講座（年金、ハラスメント）などに加え、投資、AI、SDGsなどの時流に即した講座を開催し、新規利用者の取込みに務めます。                  利用者が楽しめるイベントを費用対効果を考えながら、数多く開催します。継続するもの、入れ替えるものを分けて計画し、常に関心度と鮮度の高いイベント運営を目指します。</p> <p>児童関連行事                  定例のおはなし会（大きい子、小さい子、英語、スペシャル）を主軸に、親子で参加できて交流を深められるイベントを増やしていきます。</p> <p>学習支援関連事業                  自由研究応援講座「調べ学習キホン」、「個別相談会」、「百科事典で謎を解こう！」の他、「NTTインターコミュニケーション・センター（文化施設）ギャラリーツアー」を開催します。</p>					
主な実績					
<p>一般行事（ビジネス支援講座を含む）                  新規講座として、「キャリアアップに活かす「伝わる」文章術」講座（3/8、参加人数19人）、アロマ講座（2/22、参加人数10人）、                  美文字講座（3/22、参加人数37人）等を行いました。</p> <p>定例の行事として平和事業を含む映画会（2回、参加人数57人）、角筈まちあるき（10/12、参加人数19人）、角筈寄席（11/3、参加人数45人）、色鉛筆講座（2回、参加人数33人）を行いました。</p> <p>ビジネス講座の開催                  港区立三田図書館・江東区立東陽図書館と連携し、創業セミナー（5月～6月・全3回、参加人数28人）、ハラスメント対策講座（7/6、参加人数5人）、年金講座（9/21、参加人数5人）、NISA講座・ライフプラン講座（12月～1月・全2回、参加人数46人）を行いました。</p> <p>児童関連行事                  定例おはなし会                  大きい子向けおはなし会（対象4歳～10歳、44回、参加人数192人）、小さい子向けおはなし会（対象0歳～3歳、22回、参加人数122人）、英語おはなし会（8回、参加人数64人）、スペシャルおはなし会（10回、参加人数162人）を行いました。</p> <p>イベント                  映画会（2回、参加人数79人）、人形劇（11/23、参加人数63人）、料理教室（4/13、参加人数21人）、絵本講座（2回、参加人数26人）を行いました。また、新規イベントとして移動プラネタリウム（空気で膨らませるドームタイプ）を角筈地域センターで実施し好評でした。（3/15、2回、参加人数42人）。</p> <p>学習支援関連事業                  自由研究応援講座として、調べ学習キホン（7月・全3回、参加人数7人）、個別相談会（7月、全3回、参加人数5人）、百科事典使い方講座（7/28、参加人数4人）、ICCギャラリーツアー（8/3、参加人数21人）、理科実験教室（7/21、参加人数20人）と小学校への出張授業を3回行いました。</p>					
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
一般行事参加人数	304	180	169%	A	
児童行事参加人数	771	450	171%	A	
学習支援関連事業参加人数	57	60	95%	B	
課題・今後の取組み					
<p>指標「一般行事参加人数」及び「児童行事参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（一般行事参加人数：250 315。児童行事参加人数：600 785。いずれも令和9年度目標値。参考資料参照）。</p> <p>学習支援事業に関しては、毎年開催しているギャラリーツアーに応募が少ないことが課題です。興味を持って貰えるよう告知の仕方に工夫が必要です。</p>					

重点事業名	国際交流の場の創出	主な基本方針 項目名	8 外国人・障害者・高齢者に対する支援 12 魅力あるイベントの実施	
<b>目的</b>				
日本人と外国人が交流できる場を創出し、日本人と外国人が楽しく集いあえる場所、安心できる場所をつくり、未来の多文化共生社会に向けて、モデルケースの形成を目指していきます。				
<b>事業内容</b>				
<p>さまざまな国籍の人が交流できるイベントの開催</p> <p>ビブリオバトルの開催 日本人と外国人とで、おすすめ本を紹介しあうビブリオバトルを開催し、「本を通しての国際交流」を目指します。</p> <p>交流企画の開催 上記のビブリオバトルを発展させて、自分の大切なモノを紹介しあうイベントを開催し、更なる交流と相互理解を図ります。</p> <p>外国人のための日本語支援 外国人に対し、日本語を習得するためのワークショップを開催し、外国人同士のつながりを広げていきます。あわせて、図書館利用を促進していきます。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>さまざまな国籍の人が交流できるイベントの開催</p> <p>ビブリオバトルの開催 10月に1回実施（参加人数：外国人2人、日本人2人、観覧者数：12人）。平成26年度に開始した本イベントは、10回目となりました。「多文化共生」の特長が十分に表れた「本の国際交流」の場が創出されました。</p> <p>交流企画の開催 本ではなくモノを紹介する「モノトーク」を1月に1回実施（参加人数：外国人2人、日本人3人、観覧者数：16人）。参加者が国際色豊かな、大切にしているモノを持ち寄り、「モノを通しての国際交流」の場となりました。9歳の日本人小学生のエントリーがあり、世代を超えた国際交流の場となりました。</p> <p>外国人のための日本語支援（ワークショップ） 6月と12月に実施。6月は5か国から11人が参加、メディアの取材も入りました。12月は3か国から6人が参加。いずれの回も、日本語習得を希望する様々な国籍の方が参加し、ワークショップを通して、国境を超えた友好の場が生まれました。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
ビブリオバトル参加人数	16	20	80%	B
交流イベント参加人数	21	20	105%	A
ワークショップ参加人数	17	30	57%	C
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>ビブリオバトルは、平成26年度から10回開催してきましたが、公式ルールを厳密に守ってきたため、外国人の参加が難しくなっていた点が課題でした。今後は名称を「ビブリオトーク」と改称し、公式ルールを緩和するなど、外国人が参加しやすい形式を取り入れていきます。多様な国籍はもちろんのこと、幅広い年齢層の参加を募り、国籍と世代を超えた「本を通しての国際交流」を目指していきます。外国人のための日本語支援ワークショップは、多言語のチラシを作成するなどして外国人への情報を広げ、参加者を募っていきます。</p> <p>広報・周知については、近隣の日本語学校への直接訪問や、多文化共生関連の機関・団体・個人へのご案内、来館された外国人利用者への積極的な声掛けなど、継続して行っていきます。</p>				

<b>重点事業名</b>	母語による読み聞かせ	<b>主な基本方針 項目名</b>	8 外国人・障害者・高齢者に対する支援		
<b>目的</b>					
<p>多様性のある地域の特色を生かして、様々な母語による読み聞かせを実施します。母語を使う外国人にとっては、アイデンティティの確立への寄与、そして母語に該当しない外国人にとっては（日本人を含みます）、相手の文化を知ること、相手の尊厳を尊重することにつながります。あわせて、様々な言語の絵本の展示、さらには様々な国々の文化を紹介する写真展などを開催し、図書館の利用促進につなげていきます。</p>					
<b>事業内容</b>					
<p>外国語のおはなし会の開催                  様々な母語による読み聞かせを実施します。地域のNPOなどにご協力いただき、ミャンマー語、タイ語、ネパール語などで読み聞かせを行うほか、民族衣装の試着や外国の日用品・民芸品などの展示も兼ねたおはなし会も行います。</p> <p>外国の文化を紹介する事業の開催                  外国語の絵本の展示                  様々な団体・機関などにご協力いただき、多様な言語で書かれた絵本の展示を行い、外国文化への理解を深める場をつくります。</p> <p>外国の文化を紹介する事業の開催                  様々な団体・機関などにご協力いただき、外国の文化などを紹介する写真展などを開催し、その国の文化への理解を深める場をつくります。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>外国語のおはなし会の開催                  4月に英語、5月に韓国語、6月にシンハラ語(スリランカ)、7月にアラビア語、8月にトルコ語、9月に韓国語、10月に韓国語とチェコ語、11月に中国語、12月に英語、1月にポーランド語、2月に中国語で実施し、年間で17回開催しました（参加人数318人）。</p> <p>外国の文化を紹介する事業の開催                  外国語の絵本の展示                  7月から9月にかけて、「お国はどちら？地球です～絵本と写真で中東ネコめぐり～」とのタイトルで、トルコ語・アラビア語・ペルシャ語で、ネコが登場する絵本を29冊を展示、あわせてトルコ・エジプト・イランで撮影されたネコの写真を展示を行いました。夏休み期間ということもあり、親子連れを中心に337人が鑑賞しました。</p> <p>外国の文化を紹介する事業の開催                  6月から7月にかけて、エチオピアのお守りを紹介する「くらべてみよう、祈りのかたち。エチオピアと日本の御守り」展を開催。並行して「てづくりのオリジナルのおまもりをつくってみよう！」も行いました。10月から11月にかけては、スウェーデンの絵本を通して「スウェーデンの絵本で知ろう！子どもの権利」展を行いました。普段接する機会が少ない国の文化に関心のある方290人が鑑賞しました。</p> <p>なお、鑑賞者の人数（閲覧者数）は、職員がカウンターから目視で確認した数です。</p>					
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価	
おはなし会参加人数	318	200	159%	A	
展示等閲覧者数	627	500	125%	A	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>外国語のおはなし会は、協力団体と言語のレパトリーを増やし、内容を更に充実させていきます。同様に、外国の文化を紹介する事業も、協力団体との連携をさらに広げて、レパトリーを増やすとともに、内容を充実させていきます。外国語の絵本の読み手の方からは、「母語を参加者の方々に披露することができて、とても嬉しかった」「このような機会があればぜひ協力したい」とのお声をいただいています。参加者からは、母語で「こんにちは」「ありがとうございます」と唱和することによって、より一層お互いの距離が縮まることにつながり、共感の輪が広がっています。今後も着実に相互理解の輪を広げていきたいと考えます。</p> <p>各指標については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度及び8年度の目標値を上方修正しました（おはなし会参加人数：300 330。展示等閲覧者数：600 640。いずれも令和8年度目標値。参考資料参照）。</p>					

重点事業名	外国語資料の充実	主な基本方針 項目名	1 資料の充実		
<b>目的</b>					
<p>新宿区には約130か国の外国人が居住しており、とりわけ大久保・百人町地区には、そのうちの約3割の方が住んでいます。現在、30言語以上、約2,900冊の外国語資料を所蔵していますが、この所蔵資料をさらに拡充します。あわせて、「多文化共生」をテーマにした資料や地域資料も充実させて、「多文化共生」の情報発信に努めます。</p>					
<b>事業内容</b>					
<p>外国語資料の収集            外国語の資料を積極的に収集し、地域に住む外国人へチラシ・ポスターなどで周知を行います。チラシは、来館された方々に随時お配りし、またイベントのチラシにも、外国語資料についての内容を付記し、イベントの開催ごとに来館者、各協力団体に配布していきます。「多文化共生」をテーマにした資料の収集            「多文化共生」をテーマにした資料を充実させるとともに、大久保の歴史、近年形成された多国籍タウンの経緯等、地域に関するレファレンスにも、しんじゅく多文化共生プラザと情報を共有するなどして、対応します。</p>					
<b>主な実績</b>					
<p>外国語資料の収集            一般書の内訳は、英語25冊、韓国語37冊、中国語19冊、台湾3冊、ベトナム語1冊、ドイツ語5冊、スペイン語5冊、フランス語2冊、イタリア語2冊、合計99冊を受け入れました。児童書の内訳は、英語20冊、スペイン語2冊、ベトナム語1冊、ドイツ語1冊、イタリア語1冊、合計25冊を受け入れました。全体で124冊の外国語資料を受け入れました。様々な団体が見学に訪れた際には、外国語資料の所蔵状況の周知を徹底しました。            「多文化共生」をテーマにした資料の収集            『人種と民族を考える十二章』（吉田一穂/編著、音羽書房鶴見書店）、『文化はいかに情動をつくるか』（パチャ・メスキータ/著、紀伊國屋書店）、『せかいのみんなのパン・パン・パン!』（クリスティーナ・キンテロ/ぶん、ほるぷ出版）など、「多文化共生」をテーマにした資料を積極的に収集しました。</p>					
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率(%)	評価	
外国語資料数	2,970	2,950	101%	A	
「多文化共生」関連資料数	86	90	96%	B	
<b>課題・今後の取組み</b>					
<p>38種類の言語の外国語資料を所蔵していますが、種類を増やすだけでなく、外国語資料のさらなる周知を行い、利用促進につなげていくことが課題です。            多文化共生推進課及びしんじゅく多文化共生プラザとの連携を継続・強化していくとともに、「多文化共生」に関する資料についても積極的に収集していきます。</p>					

重点事業名	子育て支援サービス	主な基本方針 項目名	6 区民の課題解決支援 12 魅力あるイベントの実施	
目的				
<p>図書館が所蔵する子育てに関する資料や情報源を活用し、情報を必要とする方に提供するなどの子育て支援サービスを行います。また、保護者と子どもを対象としたイベントを開催し、子育てに役立つ情報発信を行うとともに、親子や参加者同士のコミュニケーションの場を提供することによって、区民の課題解決を支援します。</p>				
事業内容				
<p>子育て関連の資料の充実、子育て図書コーナーの整備・図書展示の実施 発達段階に応じた育児、健康に関する資料や保育士向けの資料など、様々なアプローチから子育てに関連する資料を収集します。子育て図書コーナーを設置し、類書を効率的に探せるように整備します。保健センター等、区内関連部署より情報パンフレットを取り寄せ、配布を行います。</p> <p>③子育て図書コーナーにおいて展示を行い、年間を通して情報発信を行います。 子育て支援イベント開催による情報発信 乳児の親子を対象としたリフレッシュ体操やわらべうたの講座など、子育て支援イベントを開催します。当事業では専門機関との連携や講師を招いた講座を実施します。</p>				
主な実績				
<p>子育て関連の資料の充実、子育て図書コーナーの整備・図書展示の実施 「パパ、ママ！初めまして。赤ちゃんです。」（4/1～5/29、展示数43点、貸出数16点） 「夏休み 親子でクッキング」（6/2～8/31、展示数44点、貸出数72点） 「You are not alone!～女性のがんと闘う人たち」（9/1～10/31、展示数38点、貸出数17点） 「『必勝！』がんばれ受験生！」（11/1～12/26、展示数40点、貸出数50点） 「冬には家読（うちどく）」（1/15～2/11、展示数30点、貸出数21点） 「その体調不良、犯人は『貧血』だった?」（2/14～3/31、展示数25点、貸出数31点） 四谷保健センター等、区内関連部署より情報パンフレットを取り寄せ、子育て図書コーナーにて配布しました。 子育て支援イベント開催による情報発信 「香りで伝えるありがとう アロマと工作ワークショップ」（6/23、参加人数19人） 親子で参加できるアロマと工作のワークショップを通して、親子のコミュニケーションを促進しました。 「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」（3/2、参加人数6人） ベビーマッサージやわらべうた遊び、ストレッチなど、親子で楽しみながら身体を動かすことのできるリフレッシュ体操を実施しました。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
子育て支援展示資料貸出数	207	300	69%	C
子育て支援イベント参加人数	25	12	208%	A
課題・今後の取組み				
<p>資料の充実と展示については、子育て図書コーナーで実施している図書展示の貸出数増加を目指し、利用者の需要を捉えた選書に一層努めます。また、より多くの方の目に留まるよう、展示スペースのレイアウトを見直します。</p> <p>子育て支援イベントについては、子育て中の保護者への情報発信に加え、保護者と子どものコミュニケーション促進、子育てコミュニティの醸成につながるイベントを継続して開催していきます。具体的には、様々なボードゲームを楽しみながら交流できるイベント「親子で体験！ボードゲームサロン」と、保護者が効果的な読み聞かせの方法を学び、絵本を通じて親子の絆を深めるきっかけとなる「親子読み聞かせ講座～絵本でつなぐ、親子の時間～」の開催を検討します。</p> <p>指標「子育て支援イベント参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（20 33、令和9年度目標値。参考資料参照）。</p>				

重点事業名	介護・高齢者支援サービス	主な基本方針 項目名	6 区民の課題解決支援 8 外国人・障害者・高齢者に対する支援 12 魅力あるイベントの実施	
<b>目的</b>				
図書館が所蔵する介護・高齢者関連の資料や情報源を活用し、情報を必要とする方に提供するなど、介護・高齢者支援サービスを行います。また、介護者やその家族を対象とした講座や、高齢者が元気に活動し、交流できるイベントを開催することで、高齢化社会における課題に取り組む情報拠点としての役割を果たします。				
<b>事業内容</b>				
<p>介護・高齢者支援関連の資料の充実、介護・高齢者支援コーナーの整備及び図書展示の実施          社会福祉、健康法、介護関連の資料など、様々な視点から介護・高齢者支援に関連する資料を収集します。          介護・高齢者支援コーナーを設置し、類書を効率的に探せるように整備します。また、落合第一高齢者総合相談センター等、区内関連部署より情報パンフレットを取り寄せ、配布を行います。</p> <p>③介護・高齢者支援コーナーにおいて展示を行い、年間を通して情報発信を行います。          介護・高齢者支援イベント開催による情報発信          認知症サポーター養成講座や高齢者を対象としたハンドメイドセラピーなど、介護・高齢者支援イベントを開催します。また、当事業では専門機関との連携や講師の招聘を行います。</p>				
<b>主な実績</b>				
<p>介護・高齢者支援関連の資料の充実、介護・高齢者支援コーナーの整備及び図書展示の実施          「まずはお金のことから考えよう」（4/1～7/10、展示数40点、貸出数90点）          「気がつきにくい体の危機～熱中症に気をつけて！～」（7/12～9/11、展示数40点、貸出数35点）          「認知症ってなんだろう？～知っておこう、誰もがなりうる病気のこと～」（9/1～10/9、展示数37、貸出数68点）          「からだにいいことはじめよう」（9/13～12/26、展示数40点、貸出数57点）          「『今年』からできること」（1/15～2/11、展示数40点、貸出数48点）          落合第一高齢者総合相談センター等、区内関連部署より情報パンフレットを取り寄せ、配布しました。また、同コーナーにて、関連するテーマのパスファインダーを配布しました。</p> <p>介護・高齢者支援イベント開催による情報発信          「気楽に、そして大切に～笑顔でつなぐ 終活セミナー」（4/21、参加人数15人）          終活についての基礎解説と、最初の一步を踏み出すためのワークショップを行いました。          「定年後の準備はできていますか～iDeco、年金の繰り下げも解説～」（7/7、参加人数10人）          ファイナンシャルプランナーを講師に招き、労働保険、年金制度、定年後のマネープランについて解説しました。          「認知症サポーター養成講座～正しく知ろう認知症～」（11/23、参加人数7人）          地域で認知症の方やその家族を支える「認知症サポーター」の養成を目指し、認知症に関する知識を深める講座を開催しました。          「腕編みで作る あったかスヌード」（2/2、参加人数6人）          腕だけで編み物ができる『腕編み』で、冬の季節に役立つスヌード制作ワークショップを行いました。          「高齢者の交流や福祉サービスを提供する区内地域施設への出張事業」          中落合地域交流館への出張事業として、ブックトーク（8/31、参加人数10人）、紙芝居口演（3/2、参加人数43人）、ボードゲーム体験会（3/28、参加人数7人）を行いました。また、高田馬場シニア活動館への出張事業として、ブックトーク（11/29、参加人数12人）、ボードゲーム体験会（3/17、参加人数8人）を行いました。</p>				
<b>指標</b>	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
介護・高齢者支援展示資料貸出数	298	210	142%	A
介護・高齢者支援イベント参加人数	118	15	787%	A
<b>課題・今後の取組み</b>				
<p>介護・高齢者支援コーナーについては、潜在的な利用者のニーズを掘り起こしや利用者の利便性の向上が課題です。ブックリストの作成やパスファインダーの整備、書架の視認性向上などを通して、資料の利用促進を図ります。</p> <p>イベント開催に関しては、高齢者の直面する問題に対する課題解決と高齢者同士の交流の場の創出につながる企画が課題です。今後は、「認知症サポーター養成講座」に加え、「終活」「定年後の資産管理」「ハンドメイドセラピー」などの講座を検討するほか、高田馬場シニア活動館や地域交流館への出張事業を積極的に行い、より多角的な情報発信を目指します。</p> <p>各指標については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（介護・高齢者支援展示資料貸出数：250 320、介護・高齢者支援イベント参加人数：20 55、いずれも令和9年度目標値、参考資料参照）。</p>				

重点事業名	地場産業の魅力発信	主な基本方針 項目名	2 地域資料の充実 12 魅力あるイベントの実施	
目的				
<p>落合地域の地場産業である「染色業」の魅力を発信します。図書館の所蔵する資料や情報源を活用し、より多くの方に地場産業である染色文化への興味を持ってもらえるようにします。また、地域の染色工房や地域団体と連携し、染色を体験できるワークショップを開催し、区民に広く認知・体験してもらうことで、地域の活性化と図書館の利用促進に繋げることを目的とします。</p>				
事業内容				
<p>地場産業に関する資料の充実・図書展示の実施          新宿の地場産業、特に染色業に関連する資料を収集します。          地域団体との連携を図り、常設展示および特集展示による情報発信を行います。展示コーナーにおいては、染色に関わる地域の催しのポスター掲示やチラシ配布を行い地域活性化を図ります。          地場産業イベント開催による情報発信          地域文化を体験できるイベントとして、染色体験やまち歩きなどのワークショップを開催します。当事業では、地域の染色工房や地域団体「染の小道」実行委員会などと連携した取り組みを行います。</p>				
主な実績				
<p>地場産業に関する資料の充実・図書展示の実施          「染物から模様のヒミツを探ろう～MONYO-MAGIC」（2/14～3/31、展示数49点、貸出数100点）          染物に関する資料だけでなく、近隣の染色工房である「一般社団法人 染の里おちあい」と共同で制作した半巾染め作品や暖簾、染色道具なども展示し、来館者の関心を引くよう工夫を凝らしました。また、展示期間中、地域団体「染の小道実行委員会」提供のポスター掲示、チラシ配布、PR動画再生などを行い、同委員会の活動を支援しました。あわせてパスファインダー「染色について調べる」を館内で配布しています。          「地域地場産業資料（常設展示）」（展示数120点、貸出数91点）          染色業を含む地場産業に関する資料の収集と展示を行いました。          地場産業イベント開催による情報発信          「体験！型染めでハンカチを染めよう」（9/29、参加人数9人）          「染の里おちあい」より職人を招き、染色の歴史についての説明や型染め作品の紹介ののち、ハンカチへの型染めを体験するワークショップを実施しました。          「染のまち歩き～川がつなげる染色工房と染色体験」（3/9、参加人数8人）          近隣の染色工房を訪問しました。参加者は工房の歴史に触れ、手ぬぐいの染色を体験しました。</p>				
指標	R6実績値	R6目標値	達成率（％）	評価
地場産業展示資料貸出数	191	250	76%	C
地場産業イベント参加人数	17	10	170%	A
課題・今後の取組み				
<p>貸出数増加が課題です。今後は、利用者のニーズを把握した資料収集と、潜在的なターゲットを掘り出す図書の紹介方法を検討していく必要があります。          イベント開催による情報発信については、地場産業への理解を一層深めることが課題です。体験型ワークショップイベントの開催にあたっては、染色工房「染の里おちあい」と密に連携を取りながら、新しい内容のワークショップを企画していきます。単なる見学に留まらず、実際に手を動かす体験を通して、地場産業の魅力や奥深さを実感してもらい、関連資料への興味や資料の貸出へとつなげていく必要があります。          指標「地場産業イベント参加人数」については、令和6年度実績を鑑み、令和7年度以降の目標値を上方修正しました（15→25、令和9年度目標値。参考資料参照）。</p>				

事業や指標・目標値の見直しについては参考資料参照。

1 新宿区ゆかりの作家関連事業

中央図書館・こども図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	新宿区ゆかりの作家関連講座 (中央図書館)	新宿区ゆかりの作家である夏目漱石などの作品を朗読する会や作品に関する講演会を実施します。	参加人数	40	40	100%	A
			オンライン閲覧数	634	700	91%	B
2	新宿区ゆかりの作家コーナーによる作家紹介(中央図書館)	新宿区ゆかりの作家の著作物や関連図書を「新宿区ゆかりの作家コーナー(常設)」に展示します。	展示数	314	320	98%	B
			貸出数	183	350	52%	C
3	漱石関連資料収集、図書展示、POP作成(こども図書館)	図書展示「新宿ゆかりの作家と作品」を実施します。	展示数	19	60	32%	D
			貸出数	11	50	22%	D
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「新宿区ゆかりの作家関連講座」については、オンライン閲覧数が目標値に達しませんでした。今後は、積極的な広報活動を行うとともに、公開時期を早めることなどを検討していきます。</p> <p>「新宿区ゆかりの作家コーナーによる作家紹介」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました(展示数:300 320)。</p> <p>「漱石関連資料収集、図書展示、POP作成」については、展示の内容・方法・場所などを改善することで展示数を増やす取組みを行い、貸出数の増加につなげていきます。</p>							

1 新宿区ゆかりの作家関連事業

四谷図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	夏目漱石関連講座・展示	重点事業参照	-	-	-	-	-
2	四谷落語・寄席	四谷にちなんだ落語・寄席を開催します。	参加人数	68	100	68%	C
3	図書館報の発行(定期号)	「図書館の活動や地域の歴史・文化」などを紹介した図書館報『よつば』定期号(年3回、各700部)を発行します。	発行回数	4	3	133%	A
4	末廣亭と新宿の歴史講座	末廣亭と新宿の歴史・文化をテーマにした講座を開催します。	参加人数	-	30	-	-
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「四谷落語・寄席」(旧事業名:四谷落語)については、落語に限らず様々な演芸を鑑賞できるよう、事業名及び事業概要を変更しました。</p> <p>「図書館報の発行(定期号)」については、『よつば』定期号を年4回発行から年3回発行(通常年3回発行、令和6年度のみ特別号を含む年4回発行)に目標値を下方修正しました(4 3)。</p> <p>「末廣亭と新宿の歴史講座」については、スケジュールの都合により末廣亭に関する講座を実施できませんでしたが、令和7年度以降は実施に向けて着実に取り組みます。</p>							

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

鶴巻図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	新宿区ゆかりの人物関連書籍コーナー	新宿区ゆかりの人物の関連書籍を集めたコーナーの維持管理、収集を行います。また、早稲田鶴巻地域の歴史を掘り下げ、新たな人物を発掘し、関連書籍を収集します。	展示数	501	600	84%	B
2	夏目漱石常設展示	漱石山房記念館に最も近い図書館であることから、重点的に資料の収集を行い、大活字本や朗読CD付きなどの図書も揃え、展示を行います。	展示数	885	890	99%	B
3	夏目漱石関連講座	夏目漱石の魅力を伝える講座などを実施し、図書館未利用者へアプローチを図ります。	参加人数	55	60	92%	B
4	名誉区民・草間彌生氏に関連する資料の収集・展示	近隣に草間彌生美術館があることから、名誉区民である草間彌生氏の関連資料を収集し、企画展示を行います。	展示数	29	50	58%	C
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「新宿区ゆかりの人物関連書籍コーナー」については、引き続きゆかりの人物数を増やすため情報収集に力をいれ、検索がスムーズに行えるような工夫を検討します。</p> <p>「夏目漱石常設展示」及び「夏目漱石関連講座」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（夏目漱石常設展示：800 890。夏目漱石関連講座：50 60）。</p> <p>「名誉区民・草間彌生氏に関連する資料の収集・展示」については、特に力を入れて草間氏関連の資料収集にあっているほか、美術館からの寄贈の受入れを行っています。今後は、さらなる資料収集と電子バスファインダーの改訂を行います。</p>							

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

西落合図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	漱石山房記念館共催事業 ミステリークエスト	重点事業参照	-	-	-	-	-
2	新宿区（主に落合地域）の作家を集めた特別展示	落合地域は、落合文士村とも呼ばれ、多くの文豪が住んでいました。文豪たちの居住地跡を記した「おちあい文豪まっぷ」を西落合図書館で作成、配布しています。そのマップに紹介されている文豪の蔵書を増やし、特別展示を行い、利用者に紹介します。	展示数	49	100	49%	D
			貸出数	36	150	24%	D
3	新宿区ゆかりの作家関連講座	新宿区ゆかりの作家である林芙美子など落合文士の作品を朗読する会や作家に関する講演会を実施します。	参加人数	9	30	30%	D
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「新宿区（主に落合地域）の作家を集めた特別展示」については、読書週間に合わせて新宿区ゆかりの作家に関する展示を実施しましたが、内容が近代文学に偏ったため貸出数は伸びませんでした。今後は、関連書籍の購入を促進するほか、広く周知に努めていきます。</p> <p>「新宿区ゆかりの作家関連講座」については、「にしおち朗読会 読書の秋！食欲の秋！食べ物にまつわるお話」特集を実施しました。今後は集客力のある夏目漱石の作品などを扱い、参加人数の増を図っていきます。</p>							

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

戸山図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	夏目漱石関連資料の収集、展示	夏目漱石関係資料の収集、漱石コーナーの常設、企画展示の実施を通して、新宿区ゆかりの作家でもっとも著名な夏目漱石の人物と作品の魅力を発信します。	貸出数	324	350	93%	B
2	新宿区ゆかりの人物の資料展示及びイベントの実施	常設している漱石関連の展示に加え、毎年、新宿ゆかりの人物を1人選択し、その人物の魅力を紹介する資料展示を実施します。 あわせて、パスファインダーを作成し配布するほか、講演会や関連施設の見学会を開催することで、利用者の理解や関心を深め貸出数の増加を図ります。	貸出数	128	150	85%	B
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「夏目漱石関連資料の収集、展示」については、貸出数は目標値には届きませんでしたが、4か年計画の初年度に達成率が9割を超えたので、利用者からは好評だったと考えます。今後も貸出数の増加を目指して揭示方法の工夫を続けていきます。</p> <p>「新宿区ゆかりの人物の資料展示及びイベントの実施」については、新宿に暮らした民俗学者である柳田国男を取り上げた資料展示とともに、専門家を招いた講演会を実施しました。貸出数は目標値に達しませんが、パスファインダーは290部配布しました。今後も継続して地域ゆかりの人物を取り上げ、その魅力を紹介します。</p>							

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

北新宿図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	新宿区ゆかりの作家朗読会	新宿区ゆかりの作家である夏目漱石の作品を演目とした朗読会を実施します。	参加人数	11	30	37%	D
2	新宿区ゆかりの作家展示	夏目漱石を中心に、新宿区ゆかりの作家に関連する展示を実施します。	貸出数	124	150	83%	B
3	地域資料を中心とした展示	地域資料がより多く利用されるよう、地域資料を中心に選書をした展示を実施します。	貸出数	23	60	38%	D
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「新宿区ゆかりの作家朗読会」については、参加人数が伸びなかったことが課題です。今後はSNSの活用やチラシの配布場所を増やすなど周知方法を工夫し、参加人数の増につなげていきます。</p> <p>「新宿区ゆかりの作家展示」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（60 150）。</p> <p>「地域資料を中心とした展示」については、貸出数が伸びませんでした。今後はテーマや展示方法を工夫することで、貸出数の増につなげていきます。</p>							

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

中町図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 新宿区ゆかりの作家関連のテーマ展示	これまでは夏目漱石を中心に展示をしていましたが、令和6年度からは、新宿区ゆかりの作家にテーマの範囲を拡大し展示を実施します。	展示回数	2	3	67%	C
2 新宿区ゆかりの作家関連古書展示	テーマ展示のうち、新宿区ゆかりの作家に関する初版本や原稿などの関連する物品を展示し、作家とその作品の紹介を行う古書展示を実施します。	展示数	14	30	47%	D
3 新宿区ゆかりの作家関連作品の朗読会	新宿区ゆかりの作家の作品を取り上げた朗読会を実施します。また、朗読会の開催に合わせて、取り上げた作品や関連資料の展示を行います。	参加人数	41	45	91%	B
課題・今後の取組み						
<p>「新宿区ゆかりの作家関連のテーマ展示」については、展示回数が目標値に達しませんでした。今後は、図書館だより『神楽坂散歩』（月1回発行）と関連付けて展示を行い、目標達成に向けて取り組んでいきます。</p> <p>「新宿区ゆかりの作家関連古書展示」については、英文学者・批評家の吉田健一の直筆原稿と所蔵資料を展示しましたが、目標値に達しませんでした。今後は関連する所蔵資料の幅を広げることなどを検討します。</p> <p>「新宿区ゆかりの作家関連作品の朗読会」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（40 45）。</p>						

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

角筈図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 漱石展示	新宿区ゆかりの作家である漱石についてテーマを決め、資料を集めて展示を行います。	展示数	94	100	94%	B
		貸出数	51	100	51%	C
2 新宿区ゆかりの作家に関する展示	漱石以外の新宿の著名な作家を複数人集め、資料展示を行います。	展示数	53	60	88%	B
		貸出数	41	80	51%	C
3 漱石山房記念館関連行事	漱石山房記念館より講師をに迎え、ゆかりの場所を巡るツアーや講座などの漱石関連イベントを実施します。	参加人数	-	40	-	-
課題・今後の取組み						
<p>「漱石展示」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（70 100）。</p> <p>「新宿区ゆかりの作家に関する展示」については、貸出数が伸びていないことが課題です。今後は目録やパスファインダー等の配布を強化するなど周知方法を工夫し、貸出数の増加につなげていきます。</p> <p>「漱石山房記念館関連行事」（旧事業名：漱石映画上映会）については、上映権付きDVDを準備できなかったため、今後は映画会に限定せず、幅広い内容の漱石関連イベントを実施するため、事業名及び事業概要を修正したほか、目標値についても上方修正しました（30 40）。</p>						

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

大久保図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	新宿区ゆかりの作家関連講座	新宿区ゆかりの作家である夏目漱石、大久保ゆかりの作家である小泉八雲などの作品を朗読する会や作品に関する講演会などを実施します。	参加人数	45	50	90%	B
2	新宿区ゆかりの作家コーナーによる作家紹介	新宿区ゆかりの作家の著作物や関連図書を展示し、利用者に紹介します。特に国際交流基金ライブラリーとの協力による「Soseki Natsume 展」を行っています。	見学者数	215	220	98%	B
3	漱石関連資料収集、図書展示、POP作成	新宿区ゆかりの作家の著作物を収集していきます。	累積収集冊数	280	350	80%	B
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「新宿区ゆかりの作家関連講座」については、新宿歴史博物館学芸アドバイザー兼漱石山房記念館アドバイザーを講師に迎え、地理・歴史講座を開催しました。今後は、開催時期や内容などを柔軟に考え、開催を検討していきます。</p> <p>「新宿区ゆかりの作家コーナーによる作家紹介」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（200 220）。</p> <p>「漱石関連資料収集、図書展示、POP作成」については、有島武郎、泉鏡花、尾崎紅葉、小泉八雲、斎藤茂吉、滝沢馬琴など、夏目漱石以外の新宿区ゆかりの作家の著作物を積極的に収集していきます。</p>							

## 1 新宿区ゆかりの作家関連事業

下落合図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	新宿区ゆかりの作家・文化人関連事業	「新宿区ゆかりの作家」別置コーナーを設置します。	貸出数	269	300	90%	B
2	夏目漱石関連事業	夏目漱石に関する企画展示を実施します。	貸出数	137	200	69%	C
		夏目漱石に関する事業企画を実施します。	参加人数	12	15	80%	B
3	手塚治虫・赤塚不二夫関連事業	常設展示「新宿区ゆかりの漫画家 手塚治虫と赤塚不二夫」を実施します。	貸出数	1,363	1,500	91%	B
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「夏目漱石関連事業」については、これまで利用の少なかった若年層に焦点を当て、現代の感覚に合わせたアプローチで夏目漱石の魅力を発信し、文学への興味を深めるきっかけづくりを行っていく必要があります。</p> <p>「手塚治虫・赤塚不二夫関連事業」については、現在の児童コーナーの奥に位置している展示コーナーの認知度が低いことが課題です。今後は、児童だけでなく、かつて両作家の作品に親しんだ世代や、日本の漫画文化に興味を持つ外国人学生など、幅広い層の利用者の貸出増加を目指します。</p>							

事業や指標・目標値の見直しについては参考資料参照。

2 区の各部署との連携と支援

中央図書館・こども図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 区の各部署との連携展示 (中央図書館)	区の各部署と連携し、自殺防止に関する図書や女性の健康に関する図書等を、啓発月間に展示します。	展示数	358	360	99%	B
		貸出数	365	370	99%	B
2 庁内レファレンス (中央図書館)	区役所内の調査等のために、図書館員が所蔵資料や商用データベースを活用してサポートします。	レファレンス件数	12	15	80%	B
3 家庭配本サービス (中央図書館)	図書館に来ることが困難な方へ家庭配本サービスの充実に努めます。	実施件数	36	40	90%	B
		貸出数	205	210	98%	B
4 学校向け団体貸出の充実 (こども図書館)	学校向けに「朝読書セット」と「学習支援便」を貸し出します。	申込件数	386	450	86%	B
課題・今後の取組み						
<p>「区の各部署との連携展示」については、令和6年度実績を鑑み、目標値（展示数及び貸出数）を上方修正しました（展示数：200 360、貸出数：250 370）。</p> <p>「家庭配本サービス」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（貸出数：135 210）。</p> <p>「学校向け団体貸出の充実」については、令和6年度（小学校）と令和7年度（中学校）に改訂された教科書の内容に合わせて蔵書を充実させ、利用の増加につなげていきます。</p>						

2 区の各部署との連携と支援

四谷図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 絵本でふれあう子育て支援事業	各部署と連携し、読み聞かせの普及や子育てを支援するイベントを実施します。	参加人数	0	50	0%	D
2 中学生対象ブックトーク	中学校1・2年生を対象として「四谷図書館職員がおすすめる本」「世界とつながる」「食」「推理小説」などのテーマを設け、知識本や地図などを活用したブックトークを実施します。この取り組みによって生徒の皆さんに読書への関心を持ってもらい、地域の図書館を知ってもらい、来館してもらうことによる貸出増加を目的とします。	参加人数	168	170	99%	B
3 認知症サポーター養成講座	四谷高齢者総合相談センターと連携して認知症サポーター養成講座を開催します。	参加人数	5	30	17%	D
課題・今後の取組み						
<p>「絵本でふれあう子育て支援事業」については、小学校図書ボランティア団体に限らず連携先を広げるため、事業概要を変更しました。</p> <p>「中学生対象ブックトーク」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（120 170）。</p> <p>「認知症サポーター養成講座」については、参加人数が伸びなかったことから、開催場所や日時、実施回数について検討します。今後も、四谷高齢者総合相談センターと密な連携を行い、講座後のサポートのあり方など区民の課題解決に取り組んでいきます。</p>						

## 2 区の各部署との連携と支援

## 鶴巻図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	保健センター等、関連部署との連携図書展示	利用者の関心の高い健康医療について、四谷保健センターと連携し、より効果の高い展示や企画を行います。	連携回数	4	5	80%	B
2	早稲田鶴巻地域のまちづくり支援	早稲田鶴巻地域の商店会などの関連資料や地図を収集、保存し、都市計画部景観・まちづくり課などからの資料提供の要請に迅速に対応できるよう管理します。	早稲田鶴巻地域関連資料数	857	910	94%	B
3	ユニバーサルデザインへの取り組み	エレベーターのない鶴巻図書館で、構造上ご利用が困難な障害者・高齢者の方をサポートする取り組みを榎町高齢者総合相談センターと連携し行います。外国語による開館時間や休館日の掲示など外国人の方への利用支援をしんじゅく多文化共生プラザ等と連携を図りながら取り組みます。	ユニバーサルデザインを考慮した企画数	1	10	10%	D
<b>課題・今後の取り組み</b>							
<p>「保健センター等、関連部署との連携図書展示」については、図書展示だけでなく、健康づくり課と連携した健康講座などを検討します。</p> <p>「早稲田鶴巻地域のまちづくり支援」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（300→910）。</p> <p>「ユニバーサルデザインへの取り組み」については、今後は榎町高齢者総合相談センターやしんじゅく多文化共生プラザ等に積極的なアプローチを行うことで、連携を図ります。</p>							

## 2 区の各部署との連携と支援

## 西落合図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	健康部との関連展示	健康部と連携して「自殺対策強化月間」や「健康増進普及月間」等に展示を行い、書籍のみならず、関連行政サービスの案内や新聞の関連記事等を設置します。	貸出数	276	280	99%	B
2	西落合図書館新宿打ち水大作戦	環境対策課と連携して、「大暑から処暑」の時期に、二次利用水を活用し、図書館出入口前の駐輪場で打ち水を行います。	参加人数	19	30	63%	C
3	出張おはなし会	重点事業参照	-	-	-	-	-
<b>課題・今後の取り組み</b>							
<p>「健康部との関連展示」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（200→280）。</p> <p>「西落合図書館新宿打ち水大作戦」については、4回実施予定のところ、降雨のため2回中止となりました。実施した2回は、おはなし会に参加した親子に呼びかけて打ち水を行いました。今後もおはなし会の日程に合わせるなど調整し、参加人数の増を目指します。併せて、熱中症やゲリラ豪雨が起きやすい時間帯を避けて実施することも検討していきます。</p>							

## 2 区の各部署との連携と支援

戸山図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 認知症サポーター養成講座等、 高齢者を支援するための事業の 実施	区の高齢者支援施設や関係部署等と連携し、地 域の高齢者や家族を対象とした講座等を実施しま す。	参加人数	5	30	17%	D
2 女性の健康展示	四谷保健センターと連携し、年2回女性の健康に関 する資料展示を実施します。	実施回数	2	2	100%	A
3 図書館見学・出張図書館	読書バリアフリー推進を目的に、新宿福祉作業所に 通う方を対象とした図書館見学・出張図書館を実 施します。	実施回数	10	10	100%	A
4 区の健康関連事業のオンライン 観覧等、健康増進を支援する 事業の実施	区が主催する健康関連事業のオンライン観覧場所 の提供等、区の各部署と連携し、地域住民の心身 の健康増進を支援する事業を実施します。	実施回数	1	2	50%	C
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「認知症サポーター養成講座等、高齢者を支援するための事業の実施」（旧事業名：認知症サポーター養成講座）については、認知症に限 定せず、高齢者の生活支援に繋がる情報提供を行う事業を盛り込むため、事業名及び事業概要を変更しました。</p> <p>「区の健康関連事業のオンライン観覧等、健康増進を支援する事業の実施」（旧事業名：区主催事業のオンライン配信観覧場所の提供） については、在宅療養シンポジウムに限定せず、しんじゅく健康スタンプラリーなどの健康増進を目的とした様々な事業で区の各部署と連携し、健 康増進へつなげる支援を行うため、事業名及び事業概要を修正したほか、目標値を上方修正しました（1 2）。</p>						

## 2 区の各部署との連携と支援

北新宿図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 区の各部署との連携展示	幅広く健康に関するテーマを取り上げ、保健センター 等と連携して展示を行います。	貸出数	59	60	98%	B
2 区の各部署との連携イベントの 開催	文化観光課等、区の各部署と連携したイベントを実 施します。	参加人数	13	30	43%	D
3 パスファインダーの作成	区民の課題解決ツールの一つとして、区内関連施設 のホームページURLや、関係部署の連絡先等を掲 載したパスファインダーを作成します。	テーマ作成数	0	7	0%	D
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「区の各部署との連携展示」については、女性の健康に限らず、幅広く健康に関するテーマを取り上げることとし、保健センター等、区の各部署と 連携して展示を行うため、事業概要を修正したほか、目標値を上方修正しました（40 60）。</p> <p>「区の各部署との連携イベントの開催」については、文化観光課の学芸員を講師に迎える「歴史講座」に限定せず、区の各部署と連携する事業 であることが分かりやすいよう、事業概要を修正しました。</p> <p>「パスファインダーの作成」の目標値については、本来は年度ごとのテーマ作成数を記載すべきところ、累計数を記載してしまったため、年度ごとの 作成数に修正しました（20 7）。</p>						

## 2 区の各部署との連携と支援

中町図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	『中学生と先生のオススメの本』発行	重点事業参照	-	-	-	-	-
2	健康講演会の開催	女性の健康、自殺防止等のテーマ展示を行います。 また、展示にちなんだ講演会を実施します。	参加人数	24	24	100%	A
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「健康講演会の開催」については、「中町図書館×中町地域交流館合同企画 健康講演会『老年期を笑顔で送るために～運動、栄養、そして心』」を開催しました。複合施設の中での連携事業となったため、講演会の開催会場の規模（定員24人）に合わせて、目標値を下方修正しました（50 24）。</p>							

## 2 区の各部署との連携と支援

角筈図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	自殺対策及び健康づくり展示	健康政策課と連携して、自殺対策と健康づくりに関する展示を行います。	展示数	74	100	74%	C
			貸出数	102	110	93%	B
2	女性の健康展示	四谷保健センターと連携して、乳がん月間である10月に併せて女性の健康に関する展示を行います。	展示数	65	70	93%	B
			貸出数	60	80	75%	C
3	西新宿小学校2年生図書館見学	西新宿小学校2年生を対象に図書館見学を実施します。	参加人数	56	60	93%	B
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「自殺対策及び健康づくり展示」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（貸出数：100 110）。</p> <p>「女性の健康展示」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（展示数：50 70）。</p> <p>「西新宿小学校2年生図書館見学」については、今後も図書館見学を通して図書館の存在を身近に感じてもらうなど良好な連携を継続することで、小学生にとって親しみやすい図書館を目指します。</p>							

## 2 区の各部署との連携と支援

大久保図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 区の各部署との連携	多文化共生事業を推進する様々な団体との関係を強固にするため、区主催の多文化共生連絡会に世話人として参画し、情報収集・発信を行います。	多文化共生連絡会定例会の参加回数	-	5	-	-
2 特別出張所・地域センターとの連携	大久保特別出張所・大久保地域センターと連携し、センターまつり等の行事に参加して、利用者の増加に努めます。大久保特別出張所内の社会福祉協議会と連携して、外国語の絵本の読み聞かせなどの外国人サポーターの受入れにも協力します。	地域センター行事参加人数	98	100	98%	B
3 家庭配本サービス	高齢者支援課や障害者福祉課等と連携し、図書館に来ることが困難な方への家庭配本サービスの充実に努めます。	実施件数	56	60	93%	B
		貸出冊数	520	525	99%	
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「区の各部署との連携」については、「しんじゅく防災フェスタ」の参加人数を指標としていましたが、様々な団体との関係を深めていくことによって多文化共生の推進を図るため、事業概要及び指標を修正したほか、目標値を下方修正しました（300 5）。</p> <p>「特別出張所・地域センターとの連携」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（30 100）。</p> <p>「家庭配本サービス」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（実施件数：30 60、貸出冊数：250 525）。</p>						

## 2 区の各部署との連携と支援

下落合図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 健康部・四谷保健センターとの連携展示	「女性の健康に関する普及事業」及び「健康増進普及月間」啓発のため、関連する展示を行います。	貸出数	48	80	60%	C
2 健康部 健康政策課との連携展示	「健康増進普及月間」及び「自殺対策強化月間」啓発のため、関連する展示を行います。	貸出数	112	150	75%	C
3 福祉部 高齢者支援課・落合第一高齢者総合相談センターとの連携展示	介護・高齢者支援コーナーにおいて、テーマ展示を行います。	貸出数	298	300	99%	B
	「認知症サポーター養成講座」などのイベントを開催し、介護者に向けた情報提供を行います。	参加人数	7	20	35%	D
4 総務部 危機管理課との連携展示	防災月間に合わせた企画展示、ハザードマップをはじめとするパンフレット・防災ツールの配布を行います。	貸出数	71	100	71%	C
5 保育園・幼稚園・認定こども園との連携	落合第四幼稚園・キッズタウン下落合保育園・新宿せいが子ども園への出張おはなし会等の読書支援を行います。	実施回数	22	25	88%	B
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「福祉部 高齢者支援課・落合第一高齢者総合相談センターとの連携展示（貸出数）」及び「保育園・幼稚園・認定こども園との連携」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（福祉部 高齢者支援課・落合第一高齢者総合相談センターとの連携展示（貸出数）：250 300、保育園・幼稚園・認定こども園との連携：20 25）。</p>						

事業や指標・目標値の見直しについては参考資料参照。

3 地域団体等との協働事業

中央図書館・こども図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 大学生等とのコラボ展示（中央図書館）	大学生や各種団体等と協働して、テーマ展示などの事業を実施します。	展示数	165	130	127%	A
		貸出数	231	180	128%	A
2 絵本でふれあう子育て支援（0歳児・3歳児）（こども図書館）	保健センターの健康診査等に参加した親子を対象に、地域ボランティアによる読み聞かせと絵本等の配付を行います。	配付率（0歳児）	87.7	90	97%	B
		配付率（3歳児）	58.2	60	97%	B
3 中学生・高校生等向け読書イベントの実施と学校との連携（こども図書館）	中学生・高校生等への読書支援を学校と連携しながら検討します。また、中学生・高校生等向け読書イベントを実施します。	学校との連携行事数	3	3	100%	A
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「大学生等とのコラボ展示」については、コロナ禍からの回復直後の実績をベースに設定した目標値であったため、実績との乖離が大きくなりました。このことから、目標値を上方修正しました（展示数：20 130、貸出数：30 180）。</p> <p>「絵本でふれあう子育て支援（0歳児・3歳児）」については、今後も新規ボランティア養成を継続するほか、配付絵本を精査するなどの取組みにより、配付率の向上に努めます。</p>						

3 地域団体等との協働事業

四谷図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 出張小さい子向けおはなし会	小さなお子さんの参加が多いこともあり、手遊びや紙芝居、小さい子向けの絵本の読み聞かせをするなど工夫しながら実施します。	参加人数	373	380	98%	B
2 出張おはなし会	夏休みを中心に親子や小学生など参加者の年齢層が幅広いため、内容に起承転結がある絵本や大型絵本・紙芝居・パネルシアターを利用するなど工夫しながら実施します。	参加人数	12	45	27%	D
3 <u>図書館の使い方・サービス紹介</u>	<u>地域団体と連携し、中学生をはじめとした幅広い層に図書館の便利なサービスを紹介します。</u>	参加人数	0	15	0%	D
4 <u>四谷文化祭等、複合施設内の機関との連携</u>	<u>複合施設内（四谷地域センター・四谷特別出張所）と連携して、四谷文化祭など協働事業の中でおはなし会や工作会等を実施します。</u>	参加人数	48	50	96%	B
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「出張小さい子向けおはなし会」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（350 380）。</p> <p>「図書館の使い方・サービス紹介」（旧事業名：図書館の使い方・見学）については、地域団体との連携を図り、中学生を対象とした講座も含め、幅広い層に図書館サービス紹介を行うため、事業名及び事業概要を変更しました。</p> <p>「四谷文化祭等、複合施設内の機関との連携」（旧事業名：四谷文化祭）については、四谷文化祭に限定せず、連携の幅を広げるため事業名及び事業概要を変更したほか、目標値を上方修正しました（40 50）。</p>						

## 3 地域団体等との協働事業

鶴巻図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 地域団体との連携	早稲田鶴巻地域の図書館として、商店会、地元企業等と連携し、資料収集、レファレンス、展示、行事企画を通して地域の課題解決支援を行います。	企画回数	6	10	60%	C
2 図書館サポーター活動の実施	図書館サポーターとともにおはなし会を実施するほか、地域資料から早稲田鶴巻地域について書かれたページのピックアップ調査を行います。	活動回数	29	30	97%	B
3 近隣・提携大学との連携	近隣にある大学との企画や学生サークルによるおはなし会などを行い、相互連携します。また、大学図書館の利用手続きや相互貸借を円滑に行います。	活動回数	30	30	100%	A
課題・今後の取組み						
<p>「地域団体との連携」については、課題解決支援として具体的にどのようなことができるのかを再検討し事業の拡大につなげていきます。</p> <p>「図書館サポーター活動の実施」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（24 30）。</p> <p>「近隣・提携大学との連携」については、学生サークルによるおはなし会のほか、大学図書館の利用手続き等がありました。今後は子ども向けのイベントで連携を図っていきます。</p>						

## 3 地域団体等との協働事業

西落合図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 地場産業の支援	重点事業参照	-	-	-	-	-
2 子育て講座	西落合図書館の近隣にあるグローバルキッズ西落合保育園と連携して、子育て世代向けの講座を実施します。	参加人数	11	20	55%	C
3 親子講座の実施	目白大学と協力し、親子向けの講座を実施します。学生と地域住民、双方が交流する機会を創出します。	参加人数	63	75	84%	B
課題・今後の取組み						
<p>「子育て講座」については、「ベビーマッサージ」と「よみきかせ」を実施して好評でした。今後は参加者の要望に応じて、実施時間を午後から午前中に変更して実施し、参加者増を図ります。</p> <p>「親子講座の実施」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（30 75）。</p>						

## 3 地域団体等との協働事業

戸山図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 都立戸山公園との協働事業	映画会をはじめとした公園内を活用したイベント等を実施します。また、館報「戸山図書館だより」で公園情報を紹介し、戸山公園サービスセンターで配布します。	実施回数	7	8	88%	B
2 クリアソン新宿応援事業	クリアソン新宿の試合結果や選手紹介などの関連情報を館内で発信します。	情報発信数	34	30	113%	A
3 <u>牛込消防署・牛込警察署等、安全安心を守る区内施設・機関との連携事業</u>	<u>地域住民の安全・安心を守る活動を行う区内施設・機関と連携し、講座等を実施することで、安全・安心な生活に資する情報を提供します。</u>	実施回数	2	2	100%	A
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「都立戸山公園との協働事業」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（4 → 8）。</p> <p>「クリアソン新宿応援事業」については、今後も継続して情報掲示を行い、地域ゆかりのチームとの協働に努めます。</p> <p>「牛込消防署・牛込警察署等、安全安心を守る区内施設・機関との連携事業」（旧事業名：牛込消防署・牛込警察署との連携事業）については、消防署・警察署に限らず、多様な施設・機関との連携を行うため、事業名及び事業概要を修正しました。</p>						

## 3 地域団体等との協働事業

北新宿図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 図書館サポーターとの連携事業の実施	図書館サポーターと連携し、「おはなし会」などの事業を実施します。	実施回数	10	10	100%	A
2 子育て関係施設との連携	認可保育所ほっぺらランド北新宿などの近隣の子育て関係施設への「出張おはなし会」として、絵本の読み聞かせを実施します。	実施回数	24	25	96%	B
3 複合施設内の機関との連携	複合施設内（北新宿第二地域交流館や北新宿子ども家庭支援センター）と連携して脳トレ教室などの事業を実施します。	実施回数	13	15	87%	B
4 外国語のおはなし会の実施	<u>地域団体等と協働で「外国語のおはなし会」を実施します。</u>	参加人数	0	30	0%	D
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「図書館サポーターとの連携事業の実施」「子育て関係施設との連携」「複合施設内の機関との連携」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（図書館サポーターとの連携事業の実施：8 → 10。子育て関係施設との連携：10 → 25。複合施設内の機関との連携：2 → 15）。</p> <p>「外国語のおはなし会の実施」については、近隣日本語学校に限定せず、幅広い地域団体等と協働できるよう、事業概要を修正しました。</p>						

## 3 地域団体等との協働事業

中町図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	図書館サポーターとの協働事業	図書館サポーター（読み聞かせ、配架、家庭配本）との協働を図り、活動の支援や研修の実施を進めるとともに、活動の場を広く提供します。	活動回数	251	255	98%	B
2	地域の団体・企業・大学との連携事業	重点事業参照	-	-	-	-	-
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「図書館サポーターとの協働事業」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（200 255）。今後も図書館サポーターの活動の場を確保し、有意義な活動を支援していきます。</p>							

## 3 地域団体等との協働事業

角筈図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	西新宿児童館おでかけおはなし会	毎月第2木曜日に西新宿児童館に赴き、児童館の乳幼児サークルに通っている親子を対象におはなし会を行います。	参加人数	166	200	83%	B
2	うちわデザイン画コンテスト作品展	角筈地区青少年育成委員会主催の納涼盆踊り大会に併設して行う「うちわデザイン画コンテスト」の応募作品を館内に展示します。	作品点数	111	150	74%	C
3	新宿中央公園夏まつりへの出店	角筈地区青少年育成委員会主催の夏まつりへ参加して、模擬店を運営します。	参加人数	525	350	150%	A
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「西新宿児童館おでかけおはなし会」については、常に一定数の参加者が集まっていることから、今後とも相互協力を継続していきます。</p> <p>「うちわデザイン画コンテスト作品展」については、作品数が減少傾向にあることが課題です。展示場所の検討と、親子の関心を引く展示方法を検討していきます。</p> <p>「新宿中央公園夏まつりへの出店」については、令和6年度実績と直近4年間の平均値を鑑み、目標値を上方修正しました（160 350）。</p>							

## 3 地域団体等との協働事業

大久保図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 NPOとの連携	NPOと連携して、外国語のおはなし会の開催、外国の文化を紹介する行事・展示、日本語支援の行事を積極的に推進します。	参加人数	468	500	94%	B
2 日本語学校との連携	日本語学校と連携して、図書館見学の受入、日本人と外国人とが交流するイベントへの参加、外国語のおはなし会の開催などを推進していきます。	参加人数	17	30	57%	C
3 新大久保商店街振興組合との連携	新大久保商店街振興組合と連携して、図書館の情報を商店街のホームページに情報発信をしていきます。また商店街の行事にも参加をしていきます。	商店街ホームページの掲載件数	25	30	83%	B
課題・今後の取組み						
<p>「NPOとの連携」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（100 500）。</p> <p>「日本語学校との連携」については、参加人数が伸びていないことが課題です。今後も日本語学校に図書館事業の情報を発信していくとともに、外国語のおはなし会など様々な事業での連携を充実していきます。</p> <p>「新大久保商店街振興組合との連携」については、「大久保まつり」に外国語のおはなし会として参加することを定着させるほか、新大久保商店街振興組合のホームページに図書館事業の情報を発信していくなど、連携を更に強化していきます。</p>						

## 3 地域団体等との協働事業

下落合図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 染色工房・地域団体との連携（展示）	染色工房・地域団体より展示物やパンフレットなどを取り寄せ、図書展示を行います。	貸出数	100	300	33%	D
2 染色工房・地域団体との連携（イベント）	染色工房・地域団体より講師をお招きし、染物体験やまち歩きイベントを行います。	参加人数	17	20	85%	B
3 クリアソン新宿との連携	地域のサッカーチームを盛り上げるため、常設の図書展示コーナーを設置し、チームに関連する展示物、選手による本の紹介POPなどを合わせて展示します。	貸出数	142	200	71%	C
4 区内大学との連携	区内大学と連携し、協働企画を行います。	参加人数	0	15	0%	D
課題・今後の取組み						
<p>「染色工房・地域団体との連携（展示）」については、貸出数が伸びていませんが、「染の小道」実行委員会や近隣の染色工房より提供を受けたパンフレットや染物作品、染色道具を展示するなど、より多角的な図書展示を通して染色文化を発信することで、地域活動や地域活性化への貢献を目指します。</p> <p>「染色工房・地域団体との連携（イベント）」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（15 20）。</p> <p>「区内大学との連携」については、大学や学科を限定せず、幅広く連携を進めるため、事業概要を変更しました。</p>						

事業や指標・目標値の見直しについては参考資料参照。

4 調べ学習・生涯学習への支援

中央図書館・こども図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	情報リテラシー講座 (中央図書館)	タブレット端末 (iPad) の操作方法や新宿区立図書館導入のデータベースの閲覧方法を説明し、図書館ホームページや資料検索の方法を紹介します。	参加人数	19	30	63%	C
2	電子書籍での学習参考書等の導入 (こども図書館)	電子図書館システム導入の際に、これまで紙の本では困難だった学習参考書等の提供を検討します。	電子学習参考書等受入数	156	180	87%	B
3	子ども読書リーダー講座 (こども図書館)	本の探し方や図書館の仕事について、学び、実際に体験できる講座を実施し子どもたち自身が自ら読書活動のリーダーとなることを目指します。	参加人数	19	20	95%	B
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「情報リテラシー講座」については、参加人数が目標達成に至らなかったことが課題です。今後は、講座内容や実施方法を検討するとともに、シニア活動館や地域交流館等にもチラシを配布するなど、周知方法を工夫することで参加人数の増加につなげていきます。</p> <p>「電子書籍での学習参考書等の導入」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました (100 → 180)。</p> <p>「子ども読書リーダー講座」については、今後も開催日程等を精査し、多くの方が参加しやすい形式を検討していきます。</p>							

4 調べ学習・生涯学習への支援

四谷図書館

	事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1	調べる学習コンクール	「調べる学習コンクール」として、地域の学校に対して作品応募の勧誘と支援を行います。	応募人数	129	200	65%	C
2	調べもの応援講座	図書館活用術を学ぶ講座を通して図書館資料を紹介し利用促進に繋がります。調べもの学習コンクールに合わせ、児童対象の講座も実施します。	参加人数	3	30	10%	D
3	新聞データベース等情報資源活用講座	新聞データベースの使い方講座など、情報資源の活用を学ぶ講座等を通して、情報資源としての図書館の役割を周知します。	参加人数	4	20	20%	D
<b>課題・今後の取組み</b>							
<p>「調べる学習コンクール」については、学校や保護者の理解を得て事業が進められるよう、朝読書やブックトーク、行事参加の機会を通じ、調べる学習コンクールの募集を積極的に働きかけていきます。</p> <p>「調べもの応援講座」(旧事業名：調べもの応援講座 (16歳以上)) については、調べもの学習コンクールに合わせた講座 (16歳未満) も対象とするため、事業名及び事業概要を変更しました。</p> <p>「新聞データベース等情報資源活用講座」(旧事業名：新聞データベースで課題解決) については、新聞データベース講座と併せて、情報講座を実施するため、事業名及び事業概要を修正しました。</p>							

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

鶴巻図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 調べる学習支援	重点事業参照	-	-	-	-	-
2 ICTの活用促進	商用データベースの紹介やプログラミング講座、しんじゅく電子図書館の使い方講座など、ICTの活用促進に取り組みます。	講座参加人数	0	50	0%	D
3 紙・電子パスファインダーの作成	企画行事や展示に沿った地域の歴史、人物、身近な課題解決、時事問題等、幅広いテーマで作成し、関心の高い方へ配布します。	テーマ作成数	22	25	88%	B
課題・今後の取り組み						
<p>「ICTの活用促進」については、商用データベースを利用できる利用者用パソコンが館内に1台のみであり、講座での使用が難しいことから、事業概要及び指標を修正しました。</p> <p>「紙・電子パスファインダーの作成」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（12 25）。</p>						

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

西落合図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 情報検索講習会の実施	図書館の館内OPACやWebOPACの使い方、さらには各種商用データベースの利用法の講習会を実施します。	参加人数	2	20	10%	D
2 調べる学習への支援	調べる学習コンクールに向けて自由研究相談会を設け、実験教室なども開催し、調べる学習の支援をします。	参加人数	41	45	91%	B
3 ICT利用促進	スマートフォン等が利用できないことにより、情報が制限されないように、高齢者等向けのICT利用に関する講習会等を実施します。	参加人数	8	30	27%	D
課題・今後の取り組み						
<p>「情報検索講習会の実施」については、図書館OPACを使った講習会を実施しましたが、参加人数が目標値に達しませんでした。地域資料への関心は高いため、講習会の周知方法を工夫するなど、参加者の増加につなげていきます。</p> <p>「調べる学習への支援」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（30 45）。</p> <p>「ICT利用促進」については、高齢者向けにキャッシュレス決済の仕組みやトラブルなどの解説をする講習会を実施しました。今後も講座の運営方法を工夫するなどして実施していきます。</p>						

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

戸山図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 調べる学習コンクールへの支援	周辺地域の学校に対し調べる学習コンクールへの応募を支援します。 出張授業や進め方ガイダンスなどのイベントを実施することで学校をサポートし、応募数の増加に努めます。	応募数	547	600	91%	B
2 区内学校の図書館見学・職場体験	区内学校と連携し、館内見学や職場体験を積極的に受け入れ、バリアフリー資料の紹介を通して障害者理解を促進し、子どもたちの成長に寄与します。	実施回数	10	10	100%	A
3 ぐらしの講座	専門家を招き、消費生活トラブルへの対策など、日々の暮らしに役立つ情報を周知し、学ぶ機会を提供します。	実施回数	3	3	100%	A
課題・今後の取組み						
<p>「調べる学習コンクールへの支援」については、目標値の約9割に達しました。今後も様々な形で児童・保護者への支援を継続して行い、応募数の増加を目指します。</p> <p>「区内学校の図書館見学・職場体験」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（8 10）。</p> <p>「ぐらしの講座」については、今後は専門家による講座だけでなく、図書館職員による切り絵会など地域の方が気軽に参加できるイベントを実施し、図書館利用につなげていきます。</p>						

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

北新宿図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 パスファインダーの作成	児童向けに図書館の使い方を周知するリーフレットや、調べものに役立つパスファインダーを作成します。	テーマ作成数	0	5	0%	D
2 近隣学校での出張授業の開催	西戸山小学校など近隣小学校と連携し、調べる学習コンクールの参加を促す出張授業を開催します。	連携校数	-	2	-	-
3 高齢者に向けたICT活用講座の実施	主に高齢者に対し、生活に身近な課題や疑問に直結したICT活用講座を実施します。	参加人数	3	20	15%	D
課題・今後の取組み						
<p>「パスファインダーの作成」の目標値については、年度毎のテーマ作成数を記載すべきところを、累計数を記載してしまったため、目標値を下方修正しました（10 5）。</p> <p>「近隣学校での出張授業の開催」については、小学校への調整依頼を行いましたがいずれも実施に至りませんでした。今後は、近隣小学校に出張おはなし会や図書館の使い方等の授業を行い、調べる学習コンクールの参加を促す取組みを行います。</p> <p>「高齢者に向けたICT活用講座の実施」については、参加人数が伸びませんでした。今後、講座内容や周知方法、開催日時などを工夫し、参加人数の増につなげていきます。</p>						

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

中町図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 調べ方講座	子どもの情報リテラシー向上のため、オリジナルのテキストを用いた調べ方の講座を実施します。 また、調べる学習コンクールの参加対象校への出張授業を実施します。	実施回数	19	20	95%	B
2 パスファインダーの作成	利用者の個々の課題解決のために、ニーズをとらえたテーマを設定し、図書館資料や各種データベースや様々な機関を紹介するパスファインダーを作成しています。毎年4テーマ程度の修正・新規作成を目指します。	テーマ作成数	31	40	78%	C
3 OPAC講座等の実施	OPAC講座等を実施して、利用者自身が新宿区立図書館ホームページの活用や、蔵書検索についてのスキルを習得することで、読みたい資料や必要な情報を自ら探すお手伝いをします。	実施回数	0	6	0%	D
4 「読書ノートをつくらう」の実施	重点事業参照	-	-	-	-	-
課題・今後の取組み						
<p>「調べ方講座」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（15 → 20）。</p> <p>「OPAC講座等の実施」については、システム更新のため実施できませんでした。令和7年度以降は、OPAC講座に限らず、利用者の情報収集や情報活用を支援する講座を検討し、着実に実施していきます。</p>						

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

角筈図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 ビジネス支援事業	リタイア前後の方を主な対象とする「長期投資」や「再雇用」、「セカンドライフ」などの広義でのビジネス支援講座を、新規で実施します。	参加人数	46	50	92%	B
2 学習支援関連事業	重点事業参照	-	-	-	-	-
3 調べる学習コンクールへの支援	「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」への支援を行います。図書館利用を促進するため、更なる応募数増を目指します。支援企画（出張授業・参加型イベントなど）を必要に応じて行います。	応募数	51	55	93%	B
課題・今後の取組み						
<p>「ビジネス支援事業」は、NISA講座の参加人数が多く、アンケートでも大変好評でした。令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（10 → 50）。今後は、視野を広げた内容の講座を企画検討します。</p> <p>「調べる学習コンクールへの支援」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（50 → 55）。</p>						

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

大久保図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 外国人利用者への日本語支援	重点事業参照	-	-	-	-	-
2 子ども読書リーダー養成講座	図書館の仕事について学び、実際に体験できる講座を実施し、子どもたち自身が自ら読書活動のリーダーとなることを目指します。	参加人数	6	15	40%	D
3 学校等との連携	小学校の「朝の読書」活動、幼稚園等の館内読み聞かせを通して、図書館の利用方法を促進していきます。図書館見学も積極的に受け入れています。	読み聞かせ人数	658	660	100%	B
		図書館見学の参加人数	57	80	71%	C
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「子ども読書リーダー養成講座」は、参加人数が少ないことが課題です。シャンティ国際ボランティア会などの団体と連携し、発展途上国に絵本を届けるという要素を加えるなどして、参加人数の増に努めます。</p> <p>「学校等との連携」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（読み聞かせ人数：350 660）。図書館見学の参加人数は目標値に未達となっていることから、今後は小学校・幼稚園等との連携を強化し、参加人数の増につなげていきます。</p>						

## 4 調べ学習・生涯学習への支援

下落合図書館

事業名	事業概要	指標	R6実績値	R9目標値	達成率	評価
1 調べる学習コンクールへの参加	調べ学習を支援するため、相談会や博物館等から専門家を呼んで行う講演会を企画・実施します。	参加人数	35	40	88%	B
2 近隣学校からの職場体験や見学の受け入れ	近隣の学校からの職場体験や図書館見学、ボランティア活動を受け入れ、図書館の仕事や使い方を紹介します。	受入人数	288	290	99%	B
3 子ども読書リーダー講座	図書館の使い方や特徴などを楽しく学べる事業を実施することで、子どもたち自らが図書館を利用できるように促します。	参加人数	46	100	46%	D
4 パスファインダーの作成	各テーマに沿ったパスファインダーを作成することで来館者の興味関心を促し、新たな知識との出会いを手助けします。	テーマ作成数	11	15	73%	C
<b>課題・今後の取組み</b>						
<p>「調べる学習コンクールへの参加」については、調べ学習に取り組む動機となるような、子どもたちの好奇心を刺激するイベントを企画する必要があります。あわせて、調べ学習ガイダンスや相談会を行います。</p> <p>「近隣学校からの職場体験や見学の受け入れ」については、令和6年度実績を鑑み、目標値を上方修正しました（200 290）。</p> <p>「子ども読書リーダー講座」については、リーダー育成のため、講座内容を充実させるなど、対象となる年齢層への効果的なアプローチを検討していきます。</p>						